

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第35週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.7-9

< 先天性風疹症候群 >

2005～2011年まで、年0～2例で推移していたが、2012年には5例、2013年第35週までには13例が報告されている



病原体情報
P.10-12

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2013年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.13-21

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について / 鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について / 世界におけるインフルエンザ流行状況



感染症の話
P.22

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(35週)
P.23-28



35週のデータ
P.29-42



発生動向総覧

< 第35週コメント > 9月4日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核381例

3類感染症

細菌性赤痢6例

菌種: *S. sonnei* (D群) 6例__感染地域: フィリピン3例、インドネシア2例、中国1例

腸管出血性大腸菌感染症173例(有症者103例、うちHUS 3例)

感染地域: 国内173例

国内の多い感染地域: 宮崎県18例*、大阪府10例、愛知県9例**、滋賀県9例、山口県9例***、福岡県9例、東京都8例、佐賀県8例#、宮城県6例、福島県6例、北海道5例、岩手県5例、千葉県5例、富山県5例

* 保育園における集団感染例を含む(O26 VT1とO103 VT1)

** 保育園における集団感染例を含む(O157 VT2)

*** 第33週に発生した保育園における集団感染例を含む(O157 VT1・VT2)

2つの保育園における集団感染例を含む(O157 VT2)

年齢群: 0歳(1例)、1歳(20例)、2歳(13例)、3歳(12例)、4歳(8例)、5歳(5例)、6歳(3例)、7歳(3例)、8歳(1例)、9歳(4例)、10代(23例)、20代(16例)、30代(21例)、40代(9例)、50代(12例)、60代(10例)、70代(10例)、80代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(50例)、O26 VT1(38例)、O157 VT2(29例)、O103 VT1(15例)、O121 VT2(11例)、O157 VT不明(6例)、O111 VT1(4例)、O157 VT1(2例)、O26 VT不明(1例)、O103 VT不明(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O115 VT1(1例)、O165 VT2(1例)、その他・不明(13例)

累積報告数: 2,505例(有症者1,704例、うちHUS 49例、死亡2例)

腸チフス1例

感染地域: 広島県

パラチフス1例

感染地域: カンボジア

4類感染症

- E型肝炎1例 感染地域:青森県__感染源:豚レバー
- A型肝炎2例 感染地域:フィリピン1例、インドネシア1例
- オウム病1例 感染地域:栃木県__感染源:飼育されていたインコ
- 重症熱性血小板減少症候群1例
感染地域:宮崎県
年齢群:80代
- デング熱11例 感染地域:インドネシア6例、マレーシア1例、タイ1例、フィリピン1例、ラオス1例、スリランカ1例
- 日本紅斑熱8例 感染地域:三重県3例、広島県2例、千葉県1例、福岡県1例、長崎県1例
- マラリア1例 熱帯熱__感染地域:シエラレオネ
- ライム病6例 感染地域:北海道2例、スウェーデン2例、米国1例、カナダ1例
- レジオネラ症20例(肺炎型19例、無症状病原体保有者1例)
感染地域:兵庫県2例、宮城県1例、福島県1例、千葉県1例、神奈川県1例、富山県1例、山梨県1例、長野県1例、岐阜県1例、愛知県1例、三重県1例、大阪府1例、広島県1例、福岡県1例、宮崎県1例、国内(都道府県不明)4例
年齢群:40代(1例)、50代(6例)、60代(6例)、70代(4例)、80代(3例)
- レプトスピラ症2例 感染地域(感染源):山形県1例(田畑での農作業)、沖縄県1例〔 河川(レジャーガイド)〕

5類感染症

- アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症10例、腸管及び腸管外アメーバ症3例)
感染地域:大阪府3例、宮城県1例、秋田県1例、群馬県1例、埼玉県1例、石川県1例、兵庫県1例、熊本県1例、国内(都道府県不明)2例、ベトナム/カンボジア1例
感染経路:性的接触5例(異性間4例、異性間・同性間不明1例)、経口感染3例、不明5例
- ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路:性的接触1例(異性間・同性間不明)、不明1例
- 急性脳炎5例 病原体不明5例__年齢群:1歳(1例)、2歳(1例)、5歳(1例)、10代(1例)、40代(1例)
- クロイツフェルト・ヤコブ病4例
孤発性プリオン病古典型4例
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例
年齢群:70代(死亡)
- 後天性免疫不全症候群19例(AIDS 2例、無症候14例、その他3例)
感染地域:国内15例、シンガポール1例、米国1例、国内・国外不明2例
感染経路:性的接触17例(異性間5例、同性間11例、異性/同性間1例)、不明2例
- ジアルジア症3例 感染地域:東京都1例、国内(都道府県不明)2例

侵襲性インフルエンザ菌感染症3例(うち肺炎のみ2例、髄膜炎のみ1例__菌検出検体:
血液2例、血液・髄液1例)

年齢群: 5歳(1例)、70代(1例)、80代(1例 . 死亡)

侵襲性肺炎球菌感染症4例(うち肺炎のみ2例__菌検出検体: 血液4例)

年齢群: 60代(1例)、80代(2例)、90代(1例)

梅毒24例(早期顕症I期5例、早期顕症II期5例、晩期顕症1例、無症候13例)

破傷風1例 年齢群: 50代

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

遺伝子型: 不明__菌検出検体: 膿

風しん55例(検査診断例46例、臨床診断例9例)

感染地域: 東京都14例、兵庫県6例、大阪府5例、三重県3例、福岡県3例、埼玉県2例、神奈川県2例、愛知県2例、鹿児島県2例、北海道1例、千葉県1例、岐阜県1例、京都府1例、高知県1例、長崎県1例、国内(都道府県不明) 10例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、3歳(1例)、5～9歳(2例)、10～14歳(1例)、15～19歳(2例)、20～24歳(9例)、25～29歳(7例)、30～34歳(7例)、35～39歳(5例)、40代(10例)、50代(7例)、60代(2例)

累積報告数: 13,937例(検査診断例9,568例、臨床診断例4,369例)

麻しん3例〔麻しん(検査診断例3例)〕

感染地域: 愛知県2例、神奈川県1例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、40代(1例)

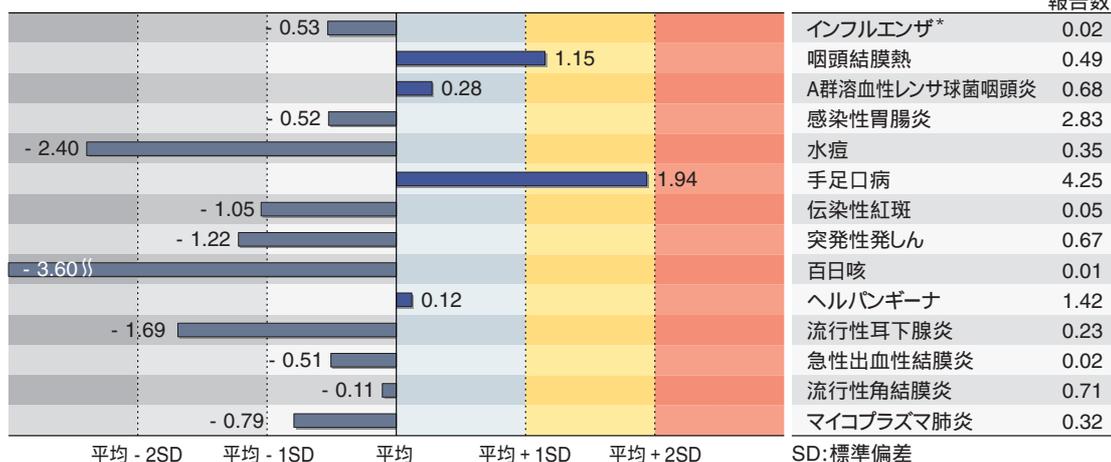
累積報告数: 191例〔麻しん(検査診断例77例、臨床診断例57例)、修飾麻しん57例〕

(補)他に細菌性赤痢1例の報告があったが削除予定。また、2012年第35週から2013年第34週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢2例(感染地域: インド1例、フィリピン1例)、E型肝炎1例(感染地域: 埼玉県__感染源: 不明)、日本紅斑熱4例(感染地域: 三重県3例、和歌山県1例)、急性脳炎1例(EBウイルス__年齢群: 6歳)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(50代)、先天性風しん症候群1例(典型例__感染地域: 神奈川県)などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第35週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.62)、京都府(0.12)、岐阜県(0.09)である。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は2,004例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(2.67)、佐賀県(2.52)、宮崎県(1.78)である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(2.37)、山口県(1.47)、長野県(1.37)である。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は大分県(7.22)、熊本県(5.60)、島根県(5.39)である。

水痘の定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は徳島県(1.17)、沖縄県(0.76)、福岡県(0.65)である。

手足口病の定点当たり報告数は横ばいであったが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(12.21)、長野県(10.83)、北海道(8.23)である。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(0.48)、宮城県(0.22)、新潟県(0.20)である。

百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.09)、福井県(0.05)、山梨県(0.04)である。

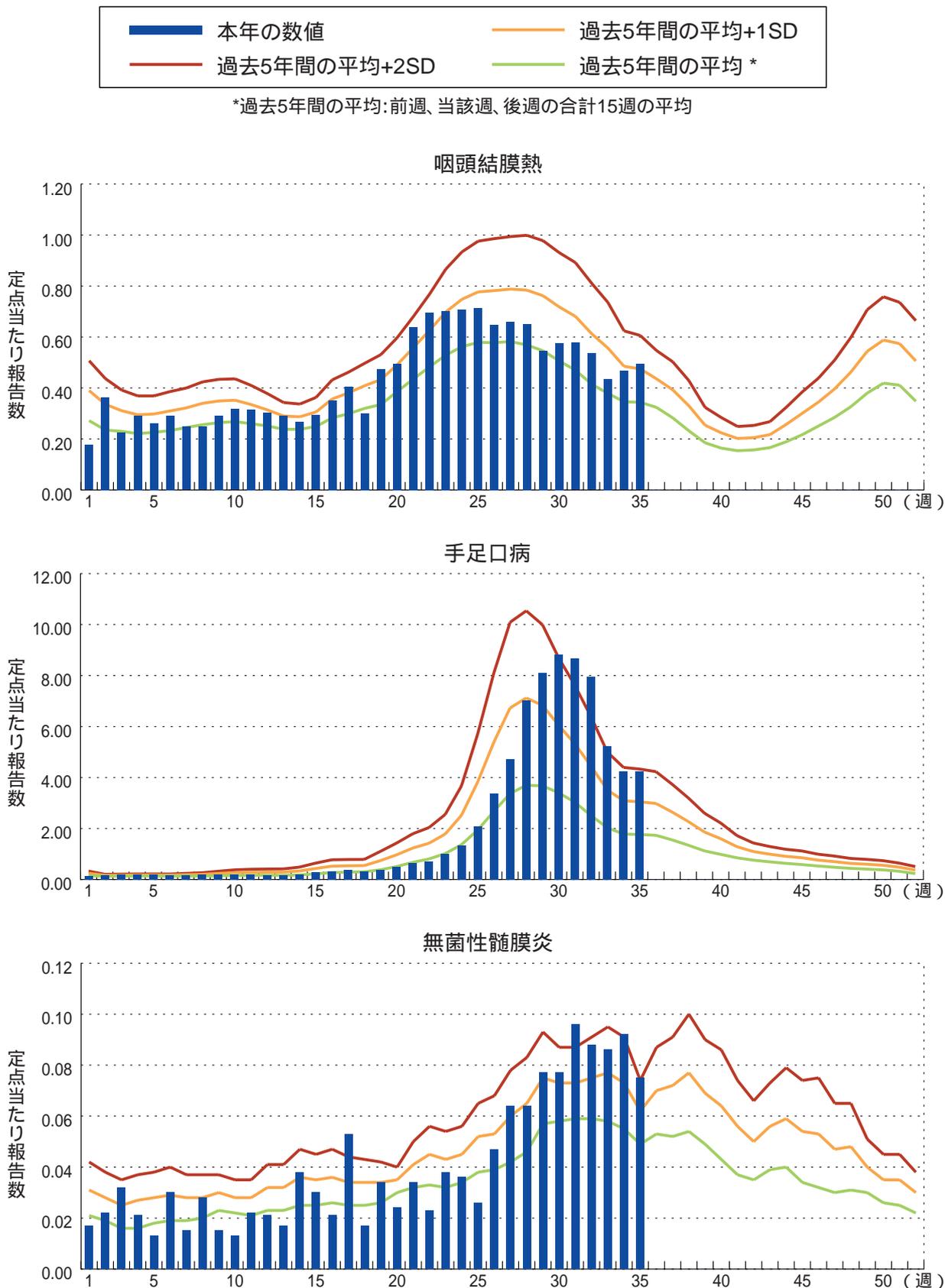
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第31週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(4.67)、青森県(4.10)、山形県(3.77)である。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.36)、岩手県(0.77)、福島県(0.64)である。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は佐賀県(1.17)、石川県(1.00)、青森県(0.83)である。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第35週)
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

先天性風疹症候群 - 2012年第1週 ~ 2013年第35週現在 -

(注)以下、本稿においては、感染症法に基づく感染症発生動向調査から得られた情報を基にまとめている。今後、状況の進展に伴い修正されることもありえるので注意されたい。

先天性風疹症候群(CRS: congenital rubella syndrome)とは、風疹に感受性のある妊娠20週頃までの妊婦が風疹ウイルスに感染し、出生児に白内障、先天性心疾患、難聴等の症状が見られたものである。

2005 ~ 2011年まで、CRSの報告は年0 ~ 2例で推移していた。2012年には5例、2013年第35週(2013年9月4日現在)までには13例の計18例が報告されている(表)。ここでは2012年以降の18例について述べる。報告都道府県としては、東京都8例、愛知県2例、大阪府2例、兵庫県2例で、埼玉県、千葉県、神奈川県、香川県からはそれぞれ1例ずつであった。性別は男性11例、女性7例で、母親の風疹ワクチン接種歴は、なし9例、不明8例、あり1例であった。母親の妊娠中の風疹発症は、あり11例、不明4例、なし3例であった。発症を認めた11例のうちの10例において発症時の妊娠週数の記載があり、その中央値は11.5週(5 ~ 17週)であった。

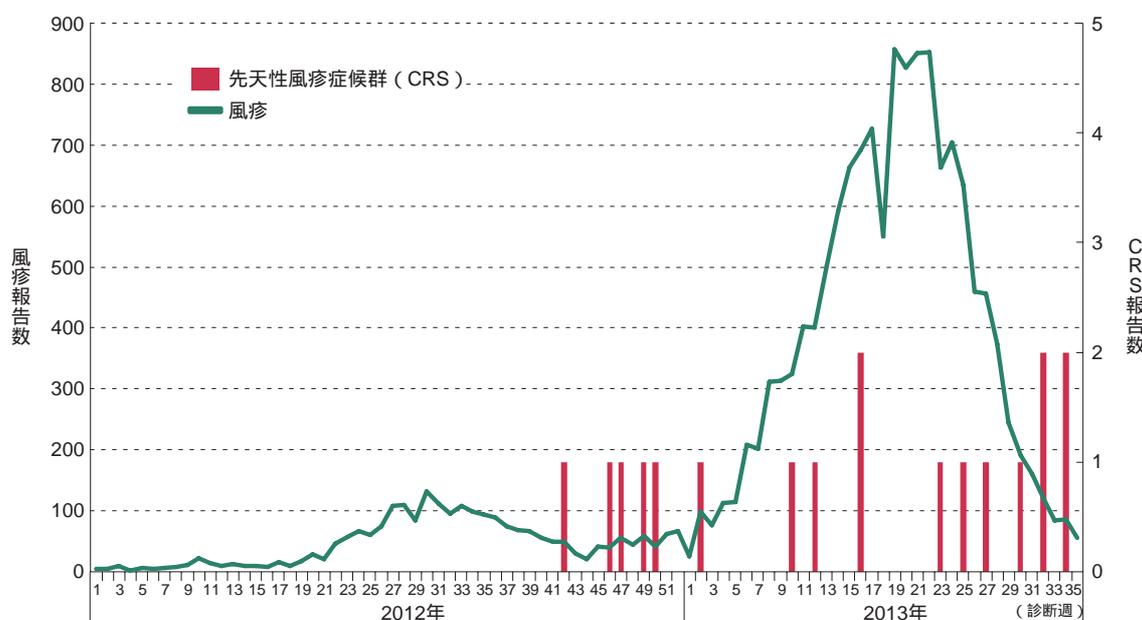
表. 先天性風疹症候群の報告一覧(2012年第1週 ~ 2013年第35週)

症例	年	診断週	報告都道府県	性別	母親の妊娠中の風疹罹患歴	妊娠週数	母親の風疹ワクチン接種歴
1	2012	42	兵庫県	女	あり	7	不明
2		46	香川県	男	あり	記載なし	なし
3		47	兵庫県	女	不明		不明
4		49	大阪府	女	なし		不明
5		50	埼玉県	男	あり	17	なし
6	2013	2	大阪府	男	あり	10	なし
7		10	愛知県	女	あり	15	なし
8		12	東京都	男	あり	5	なし
9		16	神奈川県	男	あり	7	なし
10		16	愛知県	男	なし		不明
11		23	東京都	女	不明		不明
12		25	東京都	男	あり	13	不明
13		27	千葉県	男	不明		不明
14		30	東京都	男	あり	9	不明
15		32	東京都	男	あり	9	なし
16		32	東京都	女	あり	16	なし
17		34	東京都	男	なし		あり
18		34	東京都	女	不明		なし

CRSの検査室診断は、PCR法のみによるものが3例、血清IgM抗体のみによるものが9例、PCR法と血清IgM抗体によるものが6例であった。3徴として知られる白内障、先天性心疾患、難聴の主な症状については、白内障・先天性心疾患・難聴の3徴合併(1例)、先天性心疾患・難聴の2徴合併(1例)、白内障のみ(1例)、先天性心疾患のみ(11例)、難聴のみ(4例)となっていた。他の症状としては、色素性網膜症(1例)、紫斑(7例)、脾腫(2例)、小頭症(3例)、精神発達遅滞(1例)、X線透過性の骨病変(1例)、生後24時間以内に出現した黄疸(3例)が認められた例があった(重複含む)。先天性心疾患の内訳として複数認められたものは、動脈管開存症、肺動脈狭窄症であった。

過去の報告からも、風疹の流行があるとCRS発生が増加することが知られている(先天性風疹症候群とは: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansenhohanashi/429-crs-intro.html>)。2011年から始まった風疹の流行は2013年第19~22週にピークを迎えた(図)。妊婦が風疹に罹患してからCRS児が出生するには、20~30週程度の時間差が生じるため、CRSの報告は今後、増加する可能性がある。

図. 感染症発生動向調査に報告された風疹とCRS患者数の推移
(2012年第1週~2013年第35週)



なお、風疹では不顕性感染が約15~30%程度あることから、妊婦が風疹ウイルス感染に気付かず経過している場合がある。また、CRSにおいて最も多い難聴などの症状は出生直後には把握されにくいことにより、乳児期のしばらくの期間、CRSの症状把握を積極的に行われなければ診断が遅れ、患児に対する適切な療育支援の開始が遅れる可能性がある。さらに、CRSにおいては、鼻咽頭、尿から、数カ月わたって風疹ウイルスが排泄されていることがあることから、周りにいる感受性者への対応についても考慮する必要がある。

具体的に、CRSを確実に診断するためには、妊娠初期に風疹ウイルスに感染した母より出生した新生児を対象とした確認、および乳児健診～1歳半健診時に児の症状を丁寧に確認することで早期診断に繋げることが出来ると考えられ、患児の成長発達にも良い効果が得られるのではないかと期待される。今後は、患児に対する医療・公衆衛生両面の望ましい療育支援のあり方について議論を深め実施していくとともに、予防として、妊娠を希望する女性への予防接種と、そのパートナーとなる男性への情報提供と風疹の予防啓発が重要である。

国立感染症研究所感染症疫学センター

伊東宏明 山岸拓也 中島一敏 砂川富正 松井珠乃 多屋馨子 大石和徳



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr.html>)からの引用です。

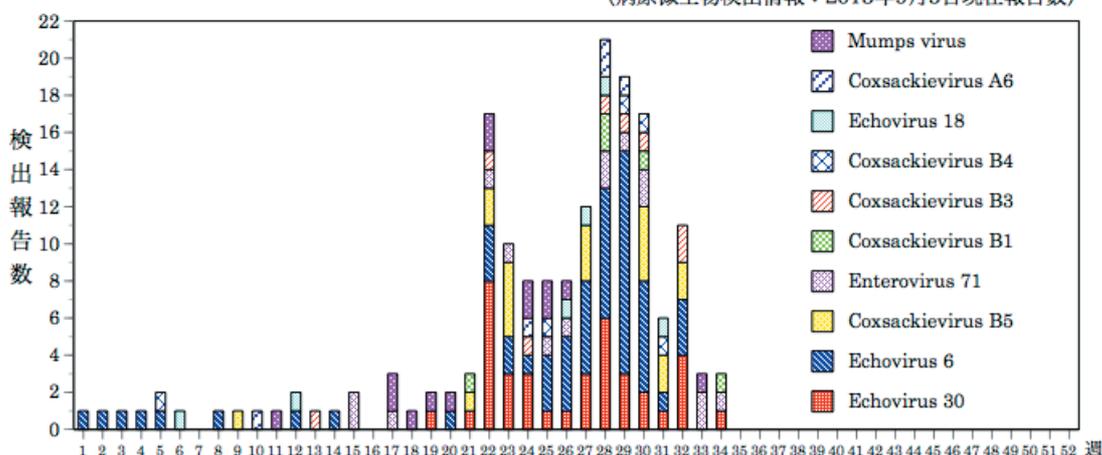
国立感染症研究所・感染症疫学センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2013年9月5日現在報告分)

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2013年

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告数、2013年

(病原微生物検出情報：2013年9月5日現在報告数)



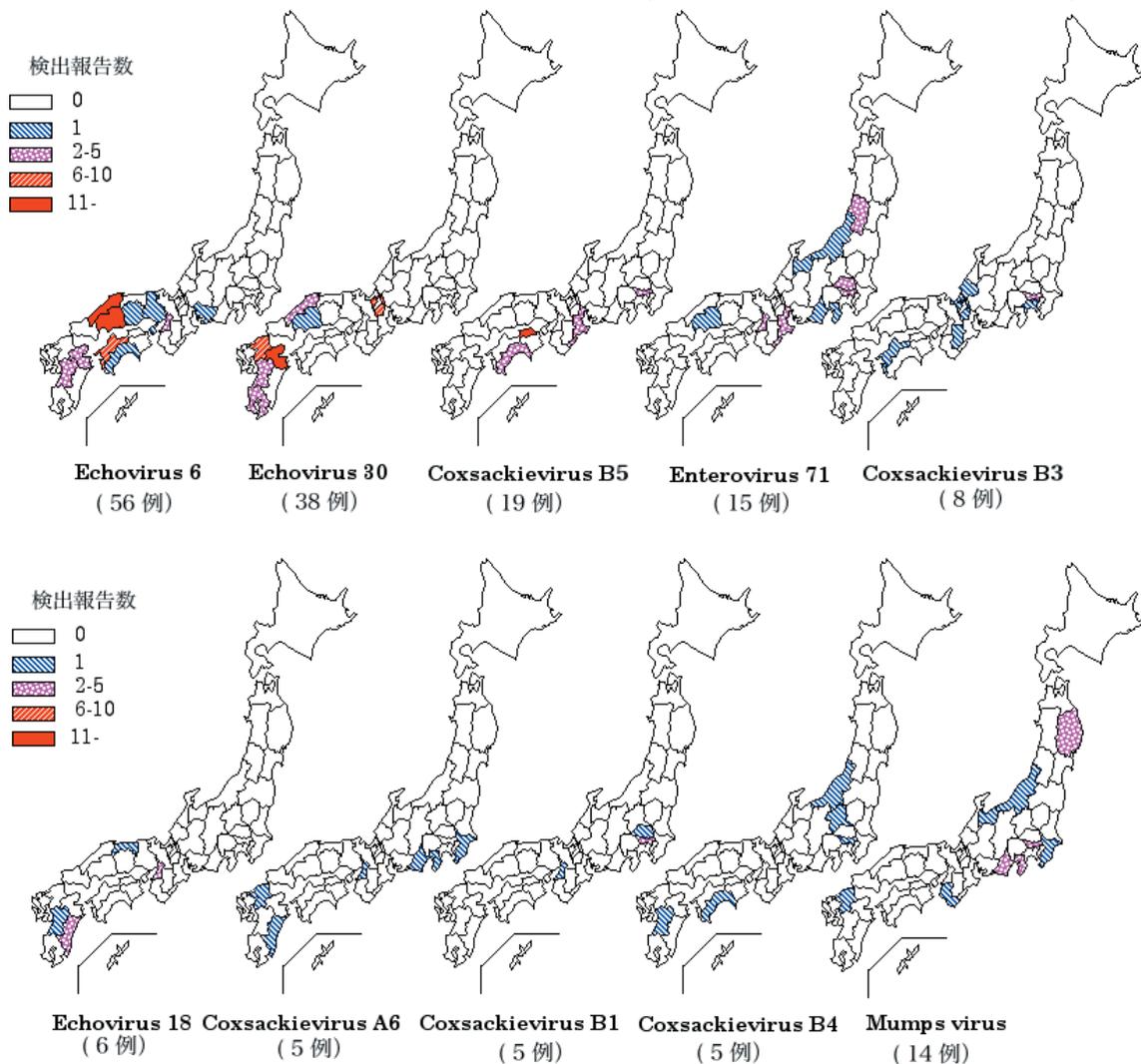
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



2013年第22週(5/27-6/2)よりエンテロウイルスの検出が増加している。エコーウイルス(E)6型が10府県から56例、E30が7県から38例、コクサッキーウイルス(C)B5型が4都県から19例、エンテロウイルス71型(EV71)が9都府県から15例報告されている。その他に、CB3が6都県から8例、E18が4府県から6例、CA6が5府県から5例、CB1が3都府県から5例、CB4が5都県から5例報告されている。

ムンプスウイルスの検出が第11 ~ 33週に東京都4例、静岡県3例、岩手県2例、千葉県、新潟県、富山県、和歌山県、福岡県各1例から14例報告されている。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離・検出報告状況、2013年
(病原微生物検出情報：2013年9月5日現在報告数)

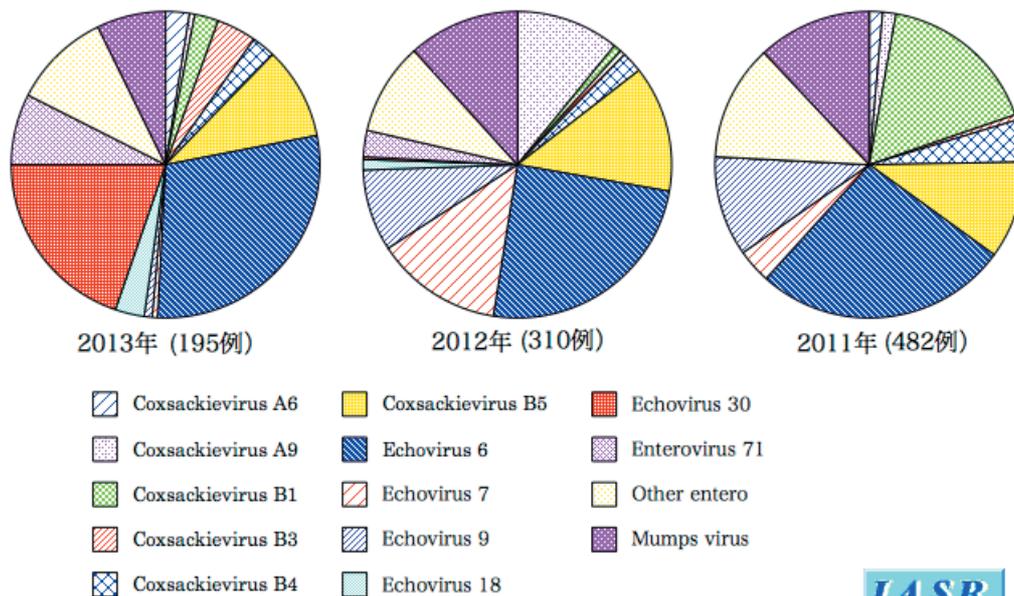


*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



無菌性髄膜炎患者から分離・検出された主なウイルス、2011～2013年

(病原微生物検出情報：2013年9月5日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



近年、無菌性髄膜炎患者からのウイルス検出報告はE6が最も多い(2011年128例、2012年77例、2013年56例)。2013年は、2011～2012年にほとんど報告のなかったE30の検出数が増加し、2011年に報告数の多かったCB1、E9、2012年に報告数の多かったE7、CA9の報告数は減少している。

無菌性髄膜炎からのウイルス検出速報グラフは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/510-surveillance/iasr/graphs/1532-iasrgv.html>

無菌性髄膜炎からのウイルス検出速報集計表は

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr/511-surveillance/iasr/tables/1493-iasr-table-v.html>

を参照下さい。



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新39)

2013年8月28日 WHO(GAR)

8月28日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアでMERS (マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに8人発生しました。

患者のうち2人は、リヤドの男性で、基礎疾患(持病)があり、死亡しました。そのほか、リヤドでは3人の女性患者と1人の男性患者、アシールでは2人の男性患者が発生しました。なお、アラブ首長国連邦で以前に報告された確定患者1人が死亡しました。

死亡した患者はリヤドの54歳の男性と51歳の男性で、いずれも慢性的な基礎疾患がありました。その他の患者は下記の通りです。

- ・リヤドで8月1日に発症した基礎疾患のある50歳の女性。現在、入院中で、人工呼吸器から離脱しています。
- ・リヤドで7月23日に発症した基礎疾患のある59歳の女性。現在、集中治療室に入院しており、重篤な状態です。
- ・リヤドで発生した基礎疾患のある50歳の女性。現在、集中治療室に入院しています。
- ・リヤドで発生した基礎疾患がある70歳の男性。現在、集中治療室に入院しています。
- ・アシールで発生した基礎疾患がある31歳の男性。現在、集中治療室に入院しています。
- ・アシールで発生した、確定患者の接触者で無症状の55歳の男性。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は102人で、このうち49人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅

威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新40)

2013年8月29日 WHO(GAR)

8月29日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、カタールでMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生しました。

1例目の患者は、基礎疾患(持病)のある59歳の男性です。8月15日に発症し、現在、入院中ですが、容態は安定しています。初期の疫学調査によって、この患者はサウジアラビアのメディナ(Medina)に6日間渡航し、8月15日に帰国したことが判明しました。しかし、ウムラ(Umrah)には参加せず、メディナのモスク(礼拝堂)であるアル・マスジッド・アン・ナバウィ(Al-Masjid an-Nabawi)にも行きませんでした。詳しい調査が行われています。

2例目の患者は基礎疾患のある29歳の男性です。最近の海外渡航歴はありませんでした。

2人とも、国際的なレファレンス研究施設で確定診断されました。国内で、医療従事者、家族、地域での接触者の138人に対してスクリーニングが行われましたが、現時点では、MERSコロナウイルスが陽性となった人はいません。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は104人で、このうち49人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たして

いないと助言しました。

鳥インフルエンザA(H5N1)に感染した患者の発生状況について(更新3)

2013年8月29日 WHO

2003年から今年8月29日までに、鳥インフルエンザA(H5N1)ウイルスに感染したと確定診断された患者は、15か国から637人が世界保健機関(WHO)へ公式に報告されています。このうち378人が死亡しています。

7月4日以降、カンボジアから新たに4人の確定患者(3歳の男児、9歳の男児、5歳の女児、6歳の男児)が報告されました。このうち1人(9歳の男児)が死亡しました。

患者は散発的に発生したものと考えられており、地域内で伝播している根拠はありません。カンボジアでは、家きんの間でインフルエンザA(H5N1)ウイルスが広く常在しており、今後も散発的な患者や小規模の集団感染が発生することが予想されます。

家きんの間でインフルエンザウイルスが循環している時は、特に家で飼育されている感染した家きんや、汚染された環境に暴露する人々の中で散発例や小規模の集団発生が起こる可能性があります。しかし、現在のところ、このインフルエンザA(H5N1)ウイルスは人の間で効率よく感染せず、このウイルスが地域レベルで拡大するレベルは依然として低いです。

世界におけるインフルエンザ流行状況(更新17)

2013年8月30日 WHO

【要約】

- ・北半球の温帯地域におけるインフルエンザの活動性は依然としてシーズンオフの水準でした。
- ・アジアの熱帯地域のほとんどでは、インフルエンザの活動性は低下しました。
- ・中米とカリブ海諸国では、インフルエンザとRSウイルスの伝播は低下しました。呼吸器疾患を起こすウイルスとして、主にRSウイルス、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)が報告されました。
- ・南米の熱帯地域では、インフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でした。ペルーでは、7月中旬にインフルエンザA(H1N1)pdm09の活動性が著しく増加したことが示され、一方ベネズエラ、エクアドル、ブラジルではインフルエンザの活動性は全体的に低下しました。
- ・南米の温帯地域と南アフリカでは、インフルエンザの伝播は6月下旬にピークへ達しました。今シーズンのこれらの地域では、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が関係した伝播で、シーズン終わりに向かって、インフルエンザA(H3N2)ウイルスの検出が増加していたと示されました。
- ・オーストラリアとニュージーランドではインフルエンザウイルスの検出数とインフルエンザ様疾患(ILI)の割合は例年に比べて低いですが、伝播の増加傾向が示されました。両国とも、インフルエンザA(H1N1)pdm09よりも、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が多く検出されました。
- ・8月11日時点で、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染した患者は135人と報告されました。詳細はWHOのウェブサイトを参照して下さい。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【北半球の温帯地域】

・北米

全体として、北米におけるインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で、依然として低い水準でした。カナダと米国のインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。米国では、6月に初めてインフルエンザA(H3N2)に感染した患者が発生してから、16人報告されました。詳細は米国疾病予防管理センター(CDC)のホームページを参照してください。

<http://www.cdc.gov/flu/swineflu/h3n2v-cases.htm>

メキシコでは、いくつかのインフルエンザの活動性の報告が続いています。8月上旬からの検査データによれば175検体が検査され、そのうち14.3%でインフルエンザが陽性でした。インフルエンザが陽性となった検体の中で、92.0%がインフルエンザAであり、このうち43.5%がインフルエンザA(H1N1)pdm09、58.1%がインフルエンザA(H3N2)、8.0%がインフルエンザB型でした。

・ヨーロッパ

ヨーロッパにおけるインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準でした。インフルエンザ様疾患(ILI)と急性呼吸器疾患(ARI)の受診率は、すべての地域で低い水準でした。定点機関で採取された検体で、インフルエンザが陽性となった検体はありませんでした。

・アフリカ北部と西アジア

アフリカ北部と西アジアにおけるインフルエンザの活動性は低い水準でした。

・北アジア

アジアの温帯地域では、ほとんどの地域で、インフルエンザの活動性は5月下旬以降シーズンオフの水準です。

8月11日現在、インフルエンザA(H7N9)の患者が135人報告されており、そのうち44人が死亡しました。詳細な情報と更新情報は、WHOのウェブサイト参照して下さい。

http://who.int/influenza/human_animal_interface/influenza_h7n9/en/index.html

【熱帯地域】

・アメリカ大陸の熱帯地域(中米、カリブ海諸国)

カリブ海諸国と中米におけるインフルエンザの活動性は減少傾向が続いています。インフルエンザ陽性となった検体の全ては、インフルエンザA型でした。キューバ、コスタリカ、ドミニカ共和国、ニカラグアでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)の重複伝播が続いていたのに対して、グアテマラでは主にインフルエンザA(H1N1)pdm09ウイルスが検出されたと報告されました。コスタリカにおけるインフルエンザの伝播は依然として高い値で、過去3週間では解析された検体の30%以上でインフルエンザが陽性でした。過去2週間にわたりキューバとグアテマラではRSウイルスが優勢で、ホンジュラスではアデノウイルスが優勢でした。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの伝播は全体的に減少しました。コロンビアにおける、外来受診率、入院率、ARI(急性呼吸器疾患)に関連したICU(集中治療室)への入院割合は、前週から著しい変化はありません。解析された検体の10%がインフルエンザ陽性で主にインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。6月上旬にピークへ達した後のベネズエラにおけるARIと肺炎の水準は例年のこの時期に予測されている活動水準へ戻りました。呼吸器疾患を起こすウイルスが陽性になった検体の割合は、先週0%へ減少しました。エクアドルにおけるSARI(重症急性

呼吸器感染症)の入院患者数も減少がみられました。過去2週間に解析されたSARI検体146件のうち、47%がインフルエンザ陽性となり、このうち85%がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。しかしながらペルーでは、7月中旬にインフルエンザA(H1N1)pdm09の伝播に急激な増加がみられ、伝播水準は高い値が続いています。ボリビアでは、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の重複伝播が続いていました。SARIの入院患者数が減少したとはいえ、検査された検体のうち、依然サンタ・クルス市(Santa Cruz)で22%、ラ・パス市(La Paz)で31%がインフルエンザ陽性でした。

ブラジルにおけるILIとSARI症例でのインフルエンザウイルス検出は減少しました。

・中部アフリカの熱帯地域

コートジボワール、ガーナではインフルエンザウイルスが伝播していると報告がありました。コートジボワールでは主にインフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザB型の伝播が報告されたのに対して、ガーナではインフルエンザA(H3N2)がより多く検出されました。カメルーン、ケニアにおけるインフルエンザの活動性は低い水準と報告されました。5月下旬にピークへ達してからマダガスカルにおけるインフルエンザの活動性は減少を続けていますが、最近ではインフルエンザB型のみ検出されました。

・アジアの熱帯地域

南アジアと東南アジアのほとんどの国で、インフルエンザの伝播は依然として低い水準です。この地域からは、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザA(H1N1)pdm09がともに報告されました。先週から中国南部、香港特別行政区(SAR)では、伝播しているインフルエンザの亜型が前シーズン中優勢だったインフルエンザA(H1N1)pdm09からインフルエンザA(H3N2)へ変化がみられました。さらに香港特別行政区(SAR)では、0から4歳までと65歳以上の高齢者でインフルエンザに関連した入院数のわずかな増加がみられています。

東南アジアでは、インフルエンザの活動性が減少しており、タイでは主にインフルエンザA(H3N2)ウイルス、カンボジアでは主にインフルエンザA(H1N1)pdm09の伝播が続いていました。

【南半球の温帯地域】

・南米の温帯地域

インフルエンザとRSウイルスの活動性は低下傾向を示し、南米の温帯地域で検出されたウイルスは主にRSウイルスでした。インフルエンザウイルスの伝播は6月にピークに達した後、低下し続けており、主にインフルエンザA(H1N1)pdm09が関係していましたが、パラグアイではインフルエンザA(H3N2)が優勢でした。

チリでは、国内のILIの受診率、SARIに関連した入院の割合は低下し続けました。依然として、主にRSウイルスが検出されました。採取された1,418検体のうち、4%だけがインフルエンザウイルスが陽性となりました。陽性となった検体では、インフルエンザA(H1N1)pdm09が大部分を占めました。

アルゼンチンでは、ILIの患者数、SARI症例数は第26週にピークへ達し、それから減少しました。この減少はまた、インフルエンザウイルスが陽性となる検体にも反映しました。解析された1,405検体のうち、5%だけがインフルエンザ陽性でした。

パラグアイでは、第27週からインフルエンザの活動性が減少し続けています。陽性になった検体のなかでは、インフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が優勢でした。

ウルグアイでは、インフルエンザの活動性は低下し続けました。呼吸器疾患を起こすウイルスとしてインフルエンザA(H1N1)pdm09とRSウイルスが優勢に検出されました。

・南アフリカの温帯地域

南アフリカでは6月にインフルエンザA(H1N1)pdm09によりインフルエンザの活動性がピークへ達してからは、過去数週間はインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型の循環によるわずかな増加水準がみられました。このインフルエンザ亜型の変化は、ILI症例数とSARI症例数にみられています。

・オセアニア、メラネシア、ポリネシア

オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島におけるILIの活動性は、過去数週間にわたり増加の傾向がみられていますが、遅いシーズンの始まりを示しているのかもしれない。

オーストラリア連邦州地域にわたって、インフルエンザの型と亜型は様々でした。

ビクトリア州ではインフルエンザB型が優勢に対して、他の州ではインフルエンザA型が優勢だと報告され、ニューサウスウェールズ州では主にインフルエンザA(H1N1)pdm09、西オーストラリア州では主にインフルエンザA(H3N2)ウイルスが検出されています。インフルエンザ陽性率は、国内定点研究所サーベイランスの11.0%からオーストラリア審査研究ネットワーク(ASPREN)の20.5%まで様々です。インフルエンザに関連した入院患者数は、過去数週間から季節性の増加を続けています。インフルエンザ患者症例の10%前後がICUへ直接入院しています。入院患者の年齢階級のピークは、0から9歳までと60歳以上の年齢層でした。

ニュージーランドにおけるインフルエンザの活動性は、依然として閾値を下回る水準が続いていますが、増加の傾向がみられます。349検体のうち136検体でインフルエンザが陽性でした。このうち64検体がインフルエンザB型、51検体がインフルエンザA(H3N2)、9検体がインフルエンザA(H1N1)pdm09、12検体がインフルエンザA(亜型不明)でした。

オークランドとカウンティーズマヌカウ保健地区(Counties Manukau District Health Boards)では、地域サーベイランスでインフルエンザの活動性がわずかに増加しており、病院サーベイランスではわずかに減少しています。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新41)

2013年8月30日 WHO(GAR)

8月30日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアでMERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに4人発生しました。

1例目の患者は、メディナ(Medina)の基礎疾患(持病)のある55歳男性です。8月17日に発症し、現在、入院中です。

2例目の患者は、ハフル・アルバチン(Hafar al-Batin)の基礎疾患のある38歳の男性です。8月8日に発症し、8月17日に死亡しました。

3例目と4例目の患者は、ともに2例目の患者と接触があった家族です。両患者は、16歳の男子と7歳の女児で、検査でMERSコロナウイルス感染が陽性になりました。この2人はともに健康で、感染症状はみられていません。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は108人で、このうち50人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新42)

2013年9月6日 WHO(GAR)

9月6日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、MERS(マーズ)コロナウイルスに感染した確定患者が新たに2人発生しました。

1例目の患者はチュニジアの保健省から報告されました。患者は66歳の男性で、5月1日に発症し、5月10日に死亡しました。この患者は、娘と息子がMERSコロナウイルスに感染したと確定されていたので、以前に疑い患者として公表されていました。患者の確定診断は、最近、米国の疾病予防管理センターで行われました。

2例目の患者はカタールの保健省から報告されました。患者は56歳の女性で、基礎疾患(持病)がありました。8月18日に発症し、8月31日に死亡しました。患者の確定診断は、最近、英国のイングランド公衆衛生当局で行われました。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は110人で、このうち52人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。

中東呼吸器症候群(MERS)の発生状況について(更新43)

2013年9月7日 WHO(GAR)

9月7日付で公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、サウジアラビアでMERS (マーズ) コロナウイルスに感染した確定患者が新たに4人発生しました。

1例目の患者は41歳の女性で、リヤド(Riyadh)の医療従事者です。基礎疾患(持病)はなく、8月15日に発症しました。この患者の容態は悪化し、8月末に死亡しました。動物や、MERSコロナウイルスに感染したと確定された患者との接触はないことが確認され、感染源の調査が継続されています。

2例目の患者は30歳の男性で、リヤドの医療従事者です。1例目の患者と同じ病院で働いていました。9月1日に重症の肺炎を発症し、現在、重篤な状態です。

3例目の患者は、ハフル・アルバチン(Hafar al-Batin)の79歳の女性で、8月21日に発症しました。この患者は、家族内で、MERSコロナウイルスに感染したと確定された患者の接触者です。この患者の容態は悪化し、9月2日に死亡しました。

4例目の患者は、ハフル・アルバチンの47歳の男性です。慢性の心臓病があり、8月23日に発症しました。この患者は、家族内で、MERSコロナウイルスに感染したと確定された患者の接触者です。現在、重篤な状態です。

全体として、昨年9月からこれまでに、WHOに報告されたMERSコロナウイルスに感染したと確定された患者は114人で、このうち54人が死亡しました。

現在の状況と利用可能な情報に基づいて、WHOはすべての加盟国へ、重症急性呼吸器感染

症(SARI)のサーベイランスを継続し、通常でないパターンの症例を慎重に検討するよう推奨しています。

医療従事者は、引き続き、警戒するよう勧められます。最近、中東から帰国し、SARIを発症した患者には、現在のサーベイランスに関する推奨に示されている通り、MERSコロナウイルスの検査をすべきです。

可能であれば、診断のために患者の下気道からの検体を採取すべきです。また、臨床医は、免疫不全患者では、下痢のような非特異的な症状・所見がみられた場合でも、MERSコロナウイルスの感染を考慮すべきです。

医療機関では、感染予防・制御を総合的に実施する重要性を再認識すべきです。MERSコロナウイルスの感染が疑われる患者や確定患者に医療を提供する施設では、他の患者や医療従事者、医療機関を訪れる人にウイルスが感染するリスクを減らすために適切な対策を行うべきです。

WHOは、すべての加盟国に対し、MERSコロナウイルスの新たな感染者が発生した際には、考えられる感染源と臨床経過の情報を合わせて、速やかに評価して報告するよう呼びかけています。感染様式を確認するための感染源調査は速やかに実施されるべきで、それにより、ウイルスの更なる伝播を防ぐことができます。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

WHOは、現在の状況について事務局長に助言するため、国際保健規則に基づく緊急委員会を開催しました。緊急委員会は、WHOの全地域の国際的な専門家から構成されており、現時点の情報に基づいてリスクアセスメントを行った結果、満場一致で、国際的な公衆衛生上の脅威となる緊急事態(Public Health Emergency of International Concern : PHEIC)の要件は満たしていないと助言しました。



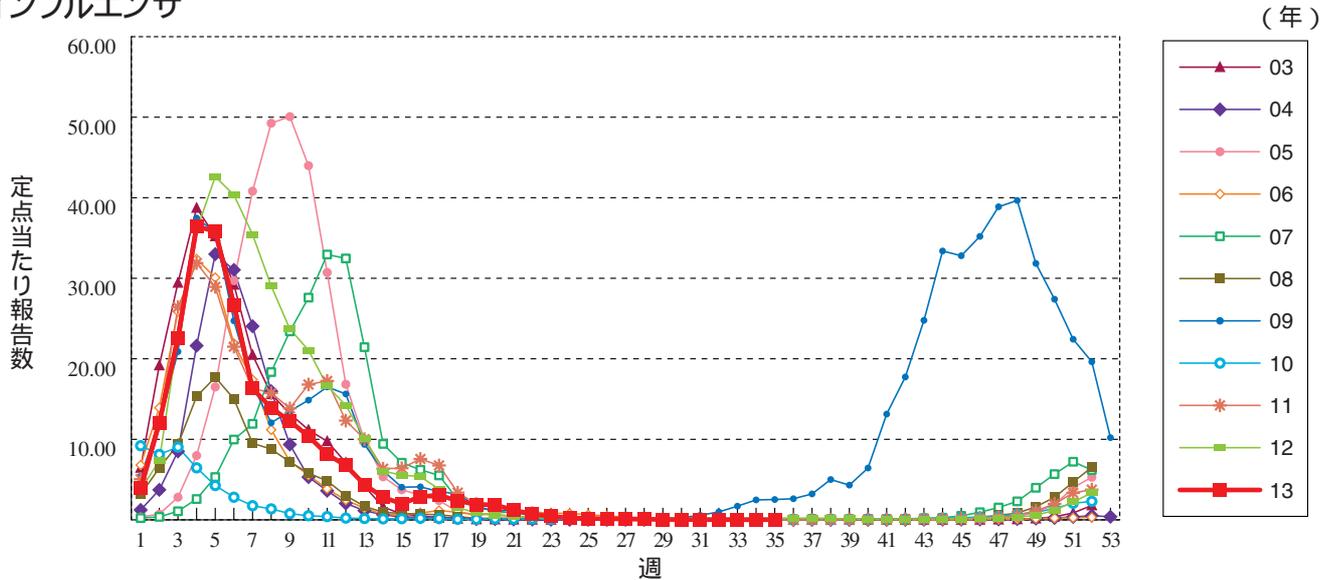
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

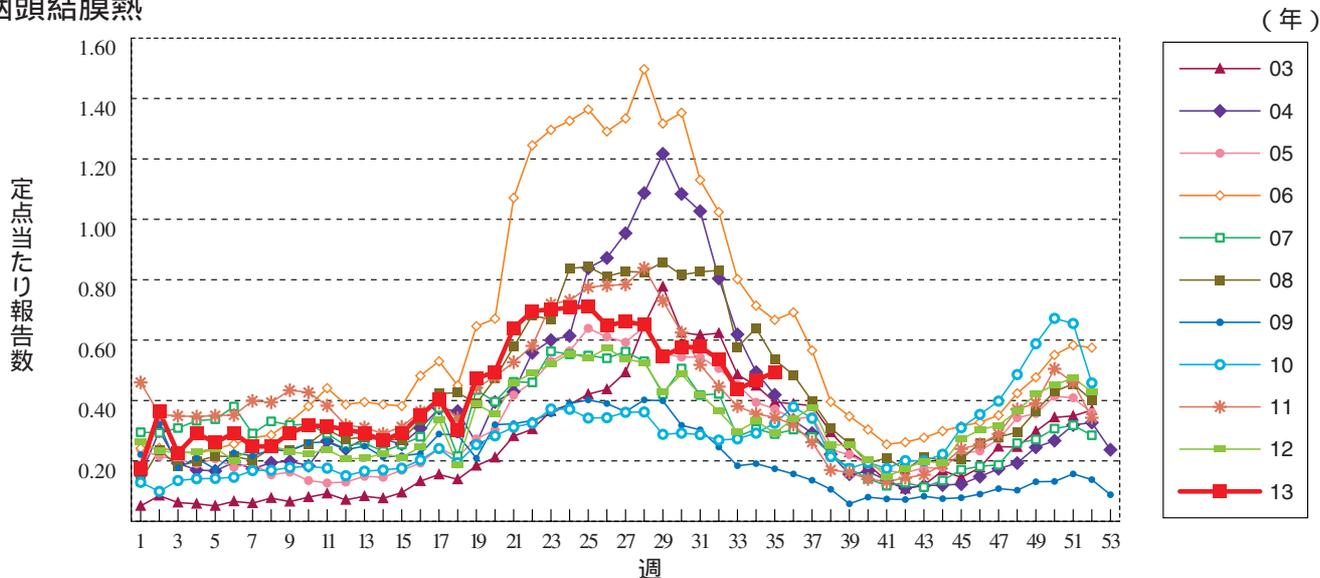


グラフ総覧(35週)

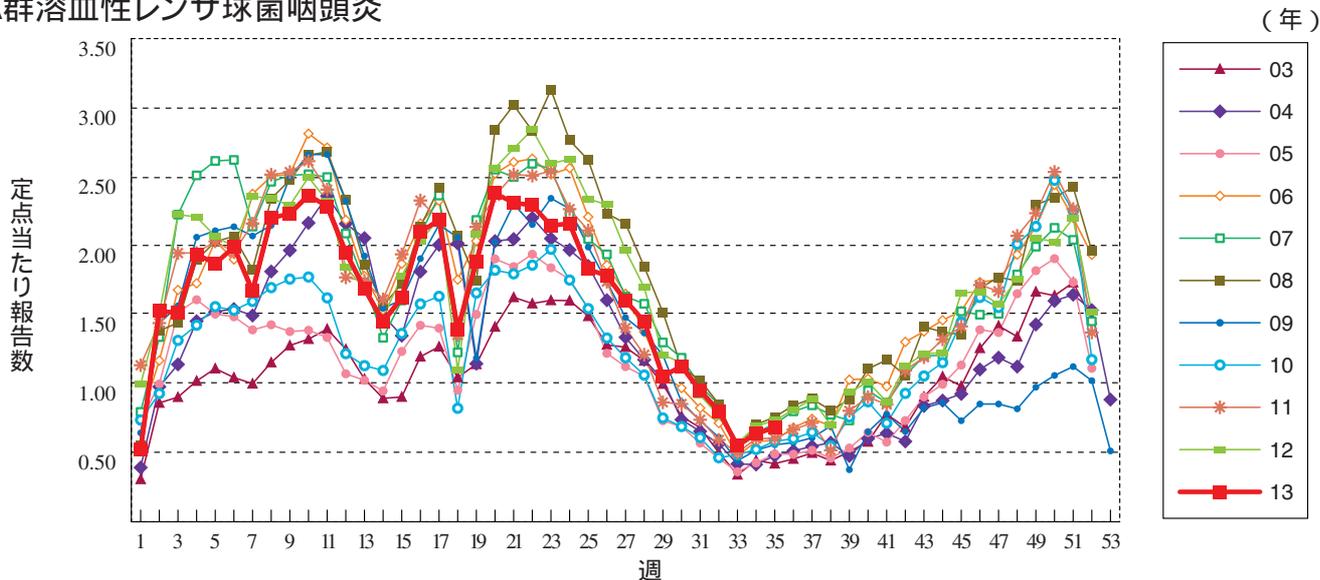
インフルエンザ



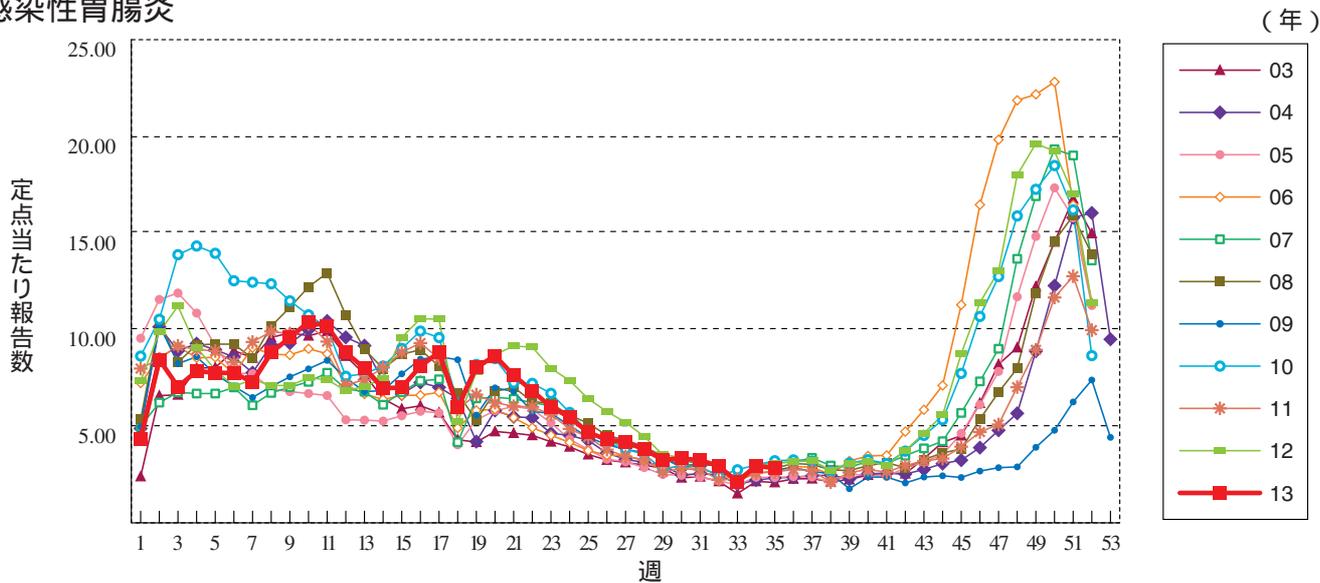
咽頭結膜熱



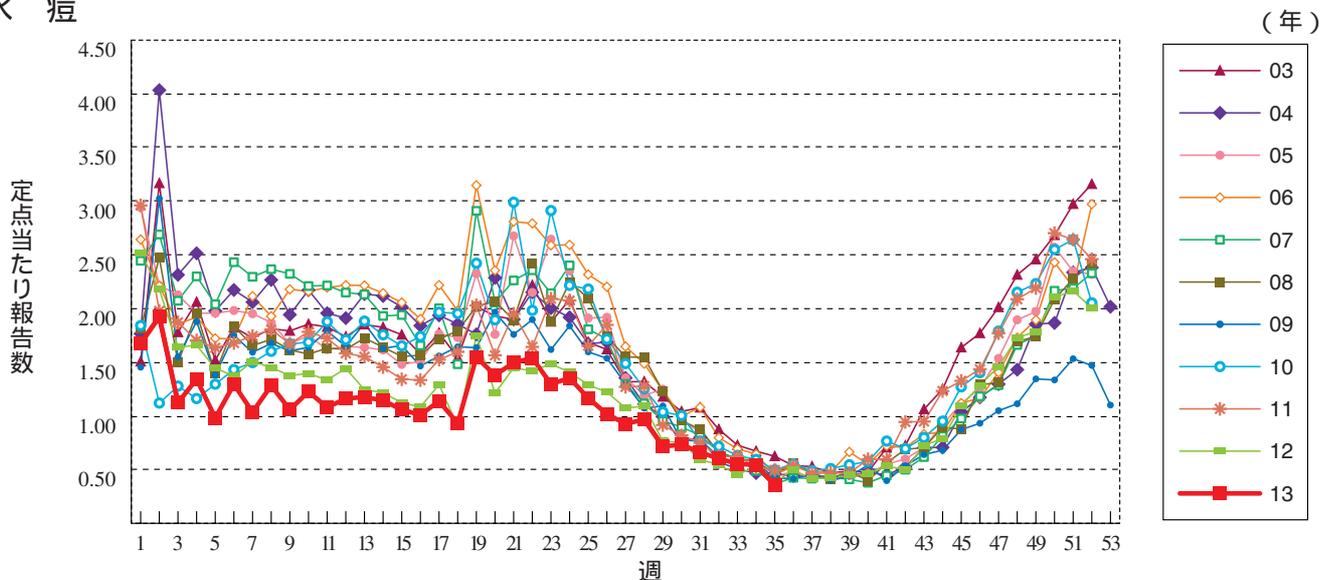
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



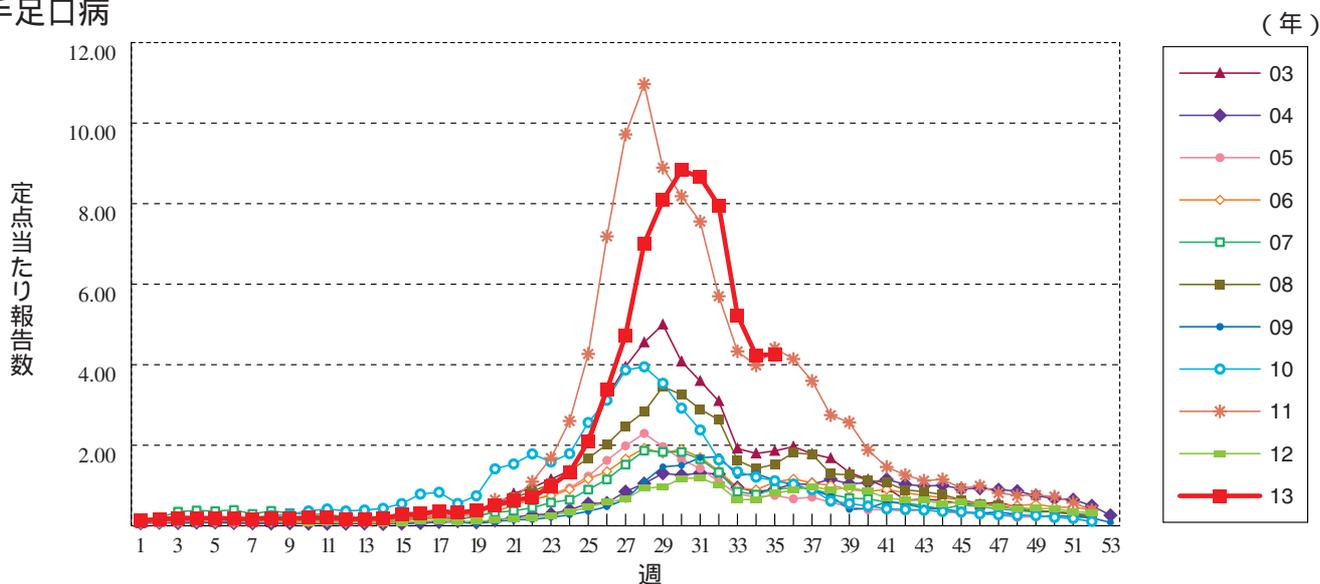
感染性胃腸炎



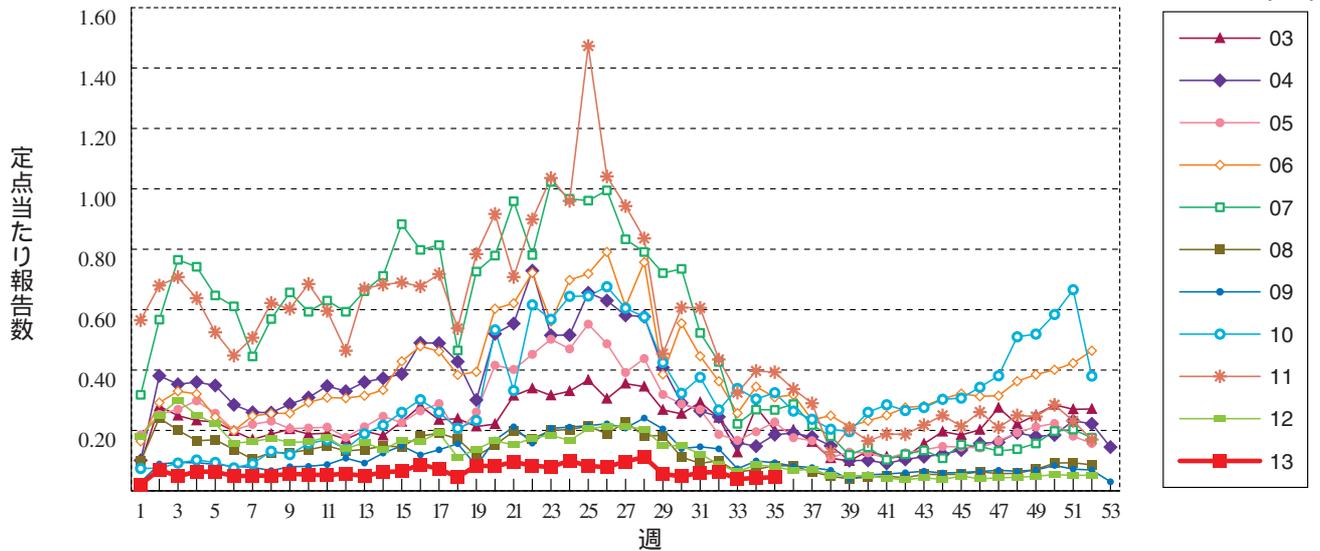
水痘



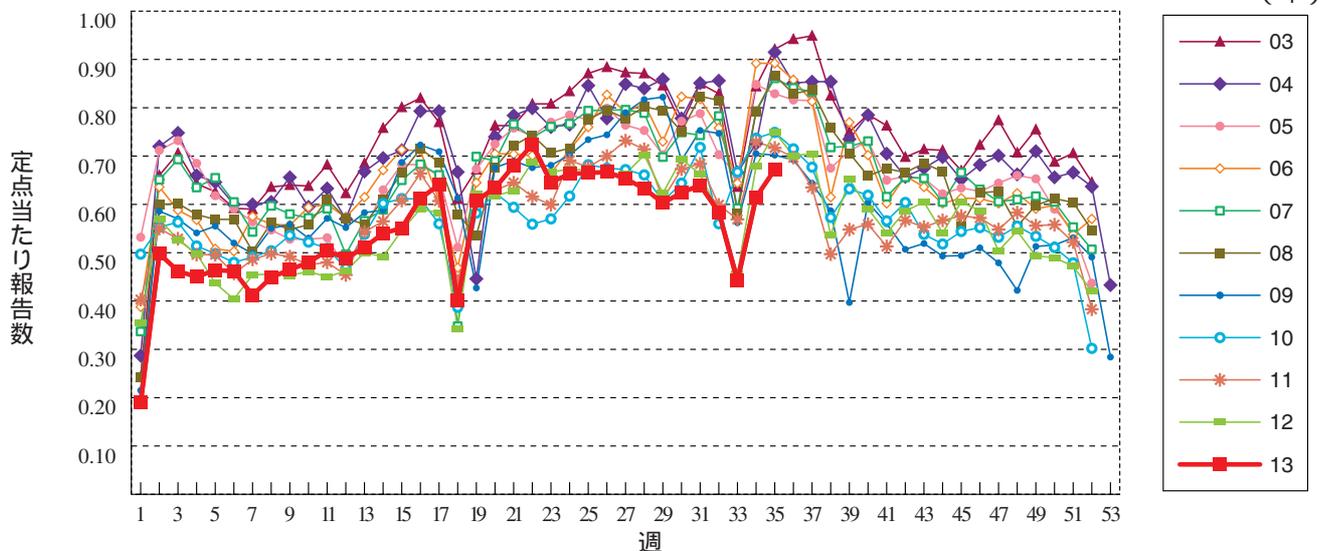
手足口病



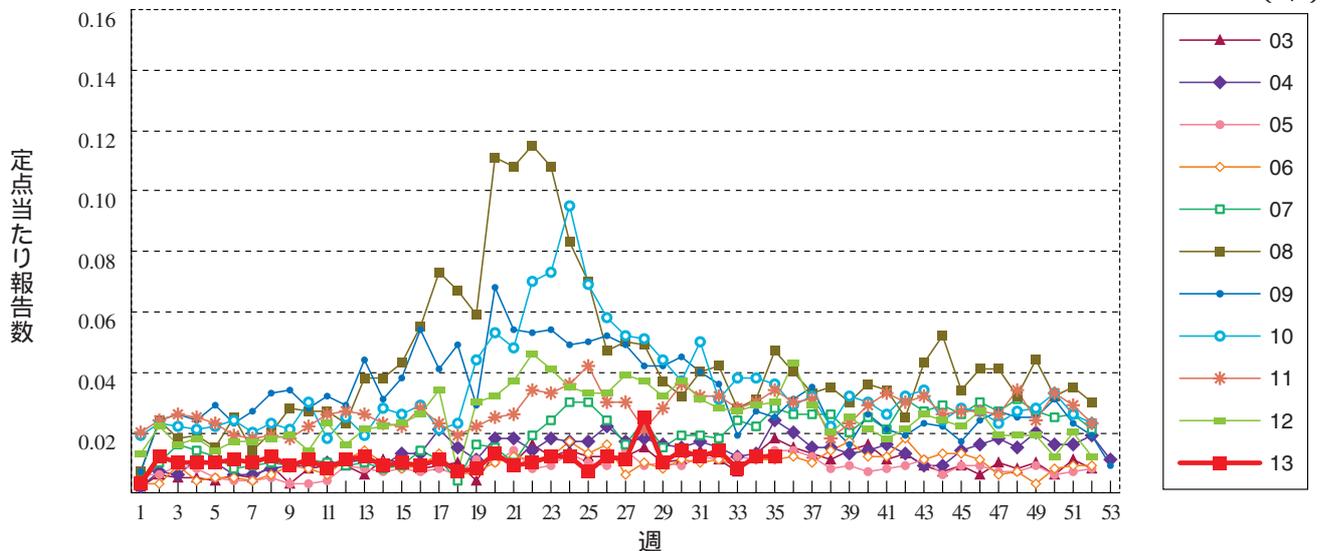
伝染性紅斑



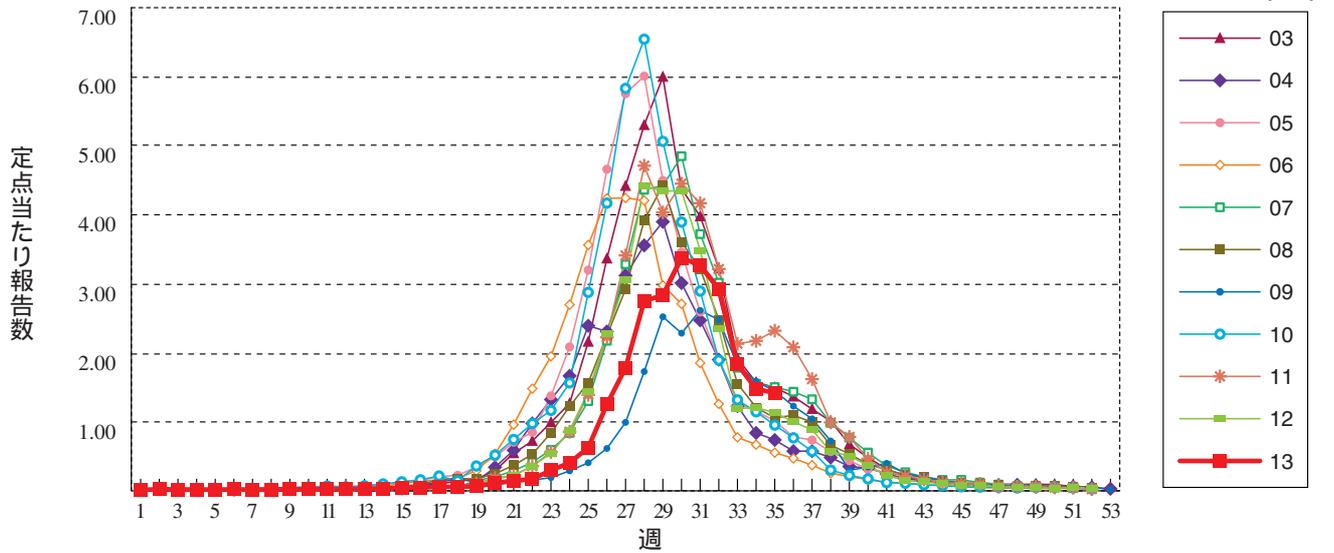
突発性発しん



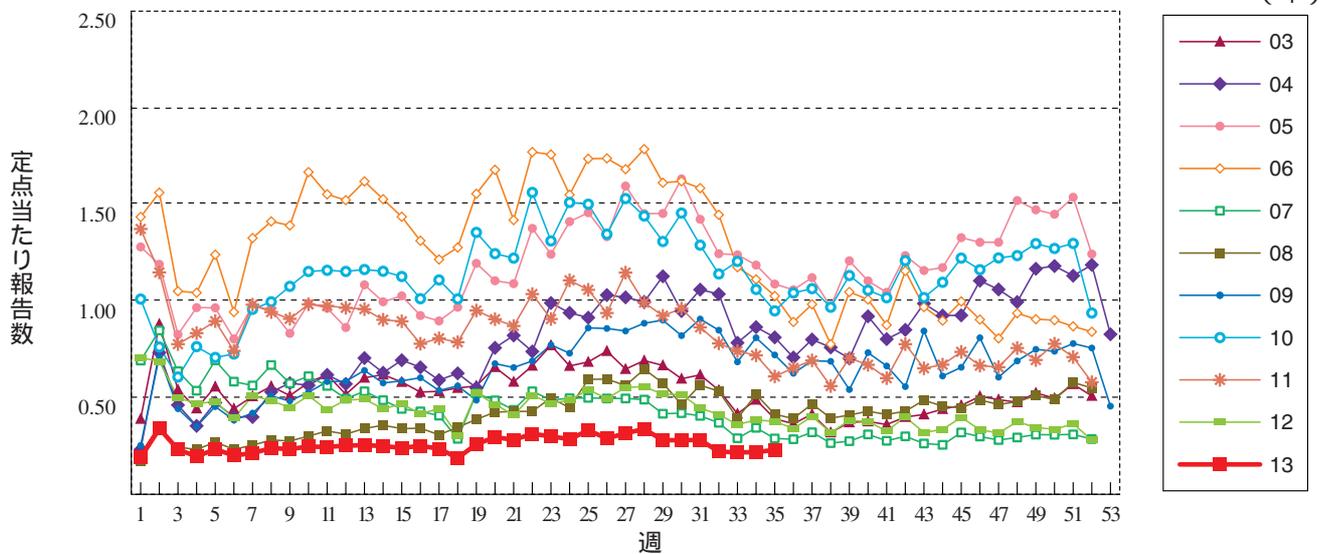
百日咳



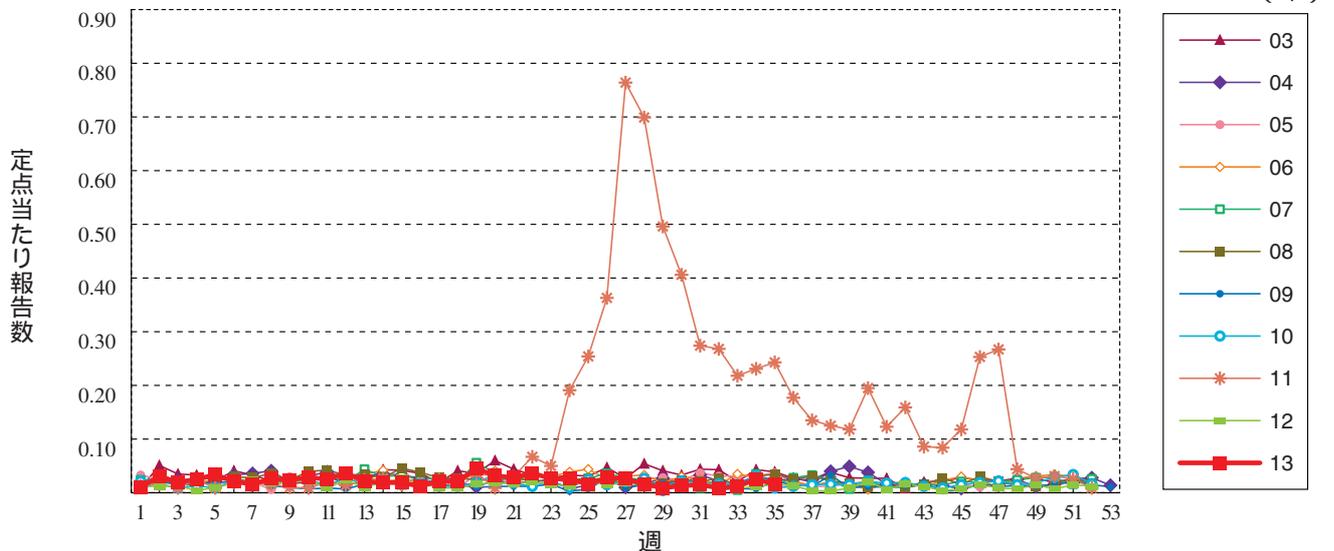
ヘルパンギーナ



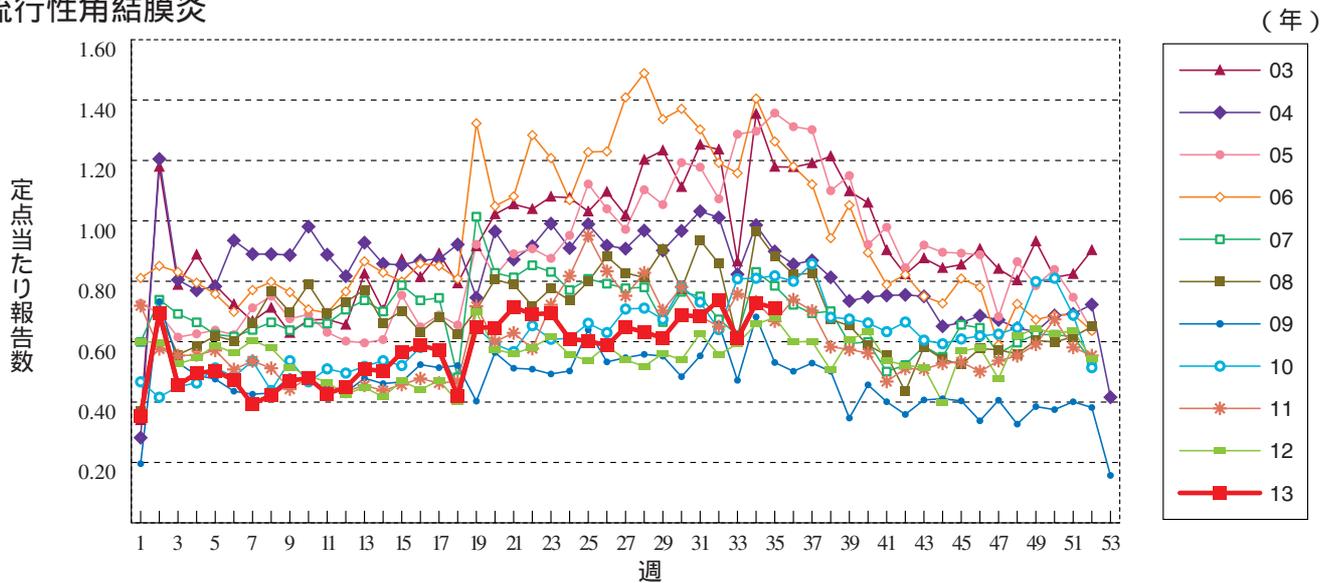
流行性耳下腺炎



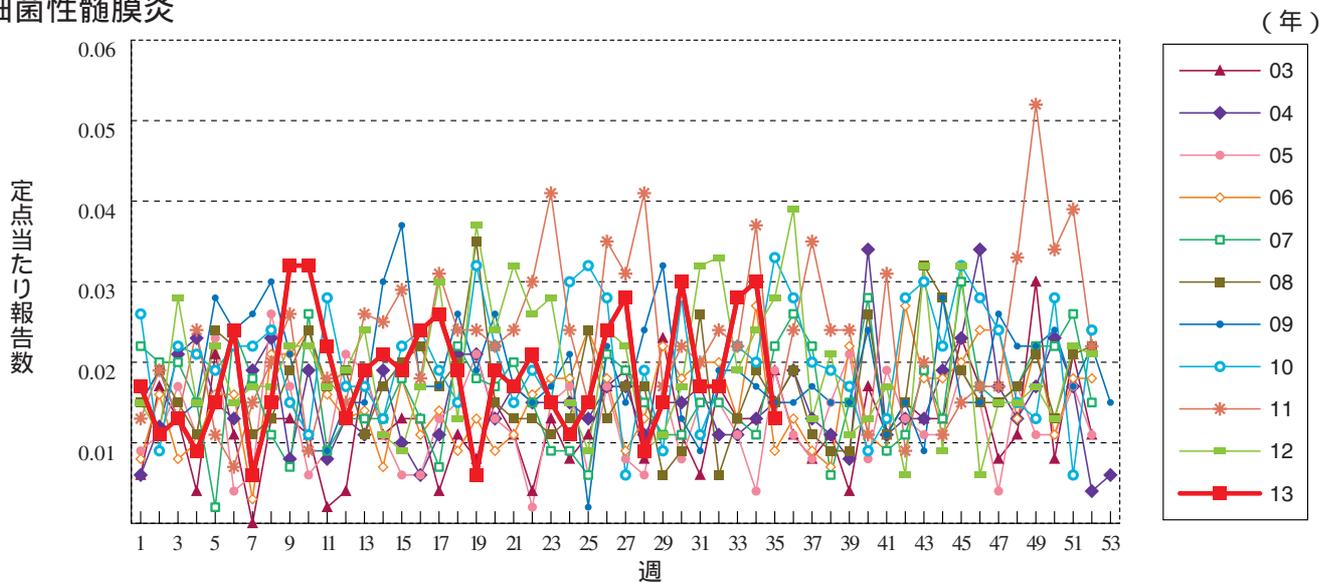
急性出血性結膜炎



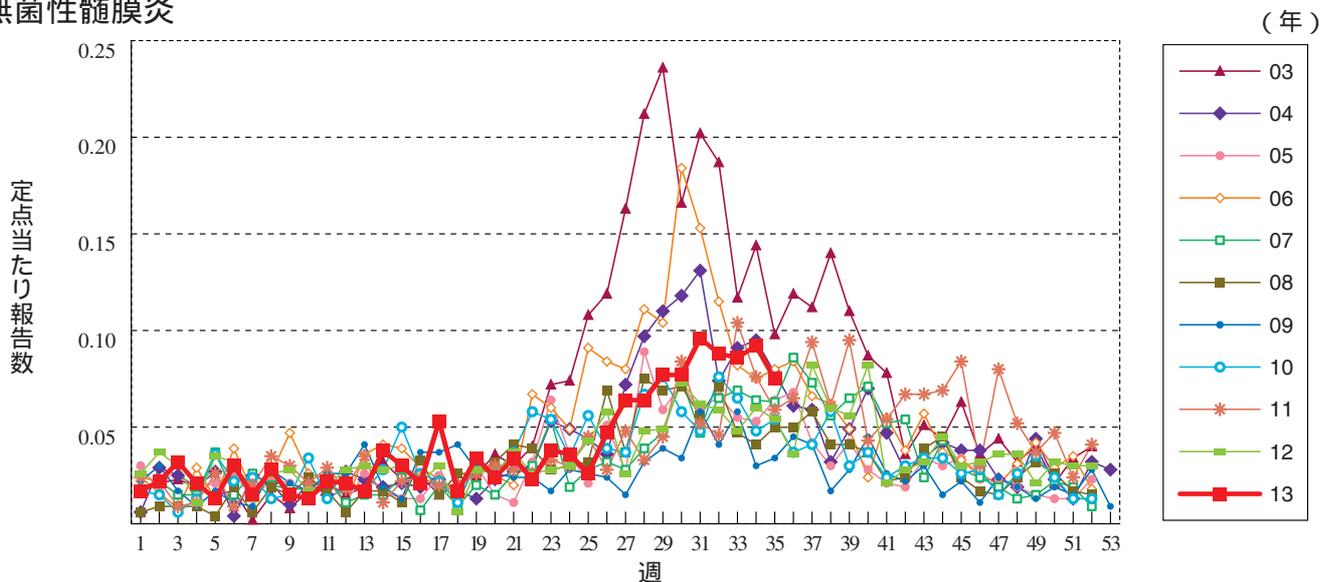
流行性角結膜炎



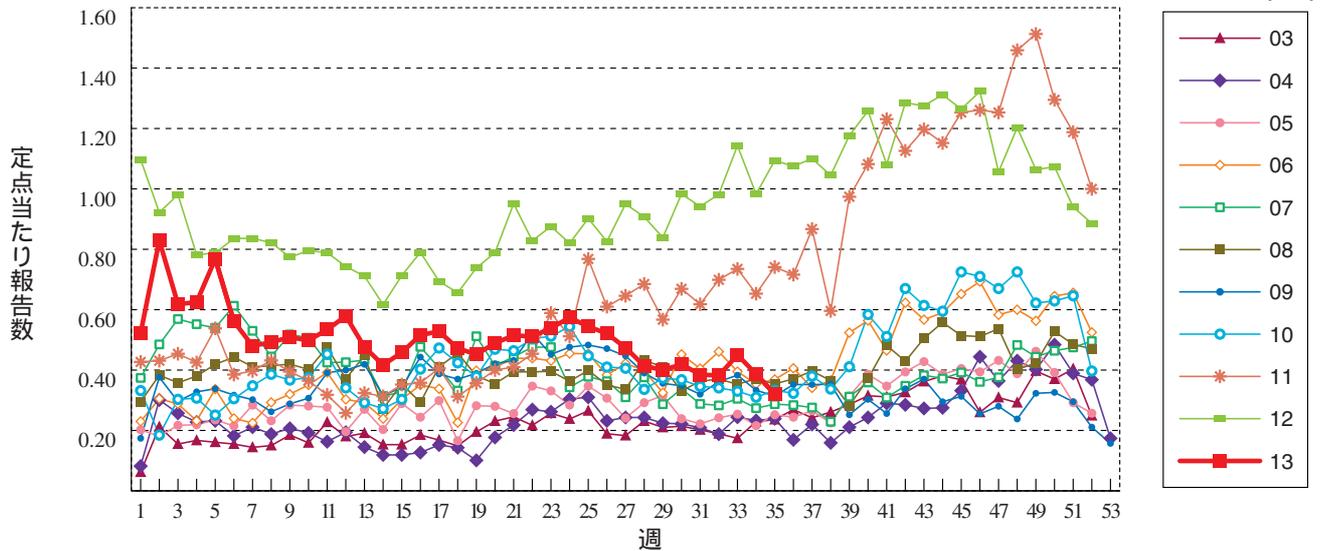
細菌性髄膜炎



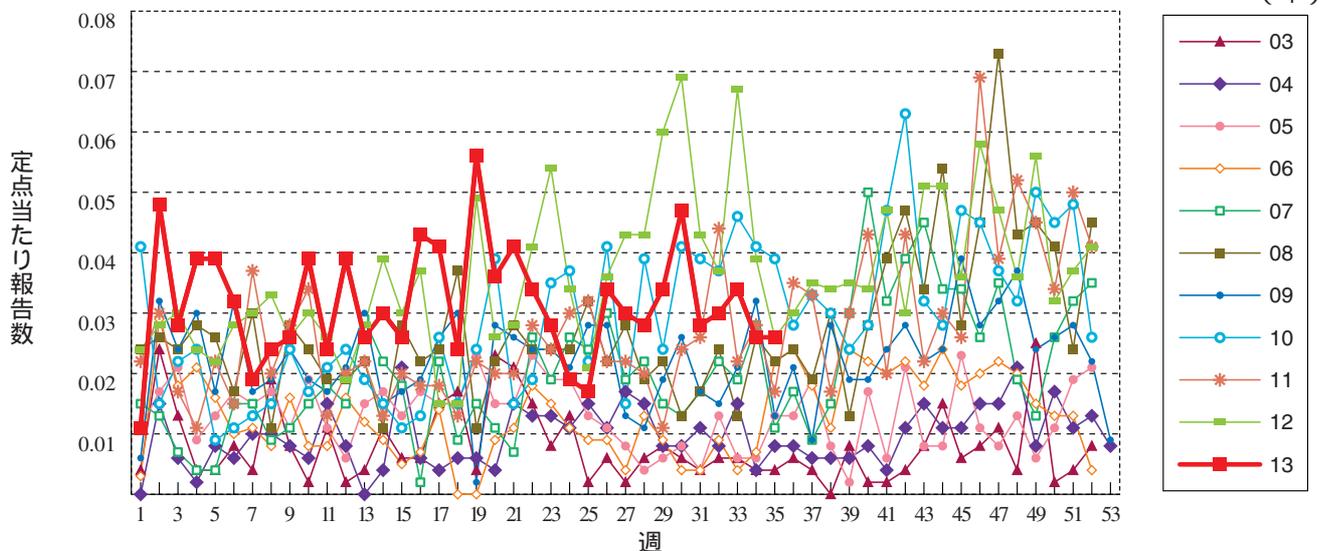
無菌性髄膜炎



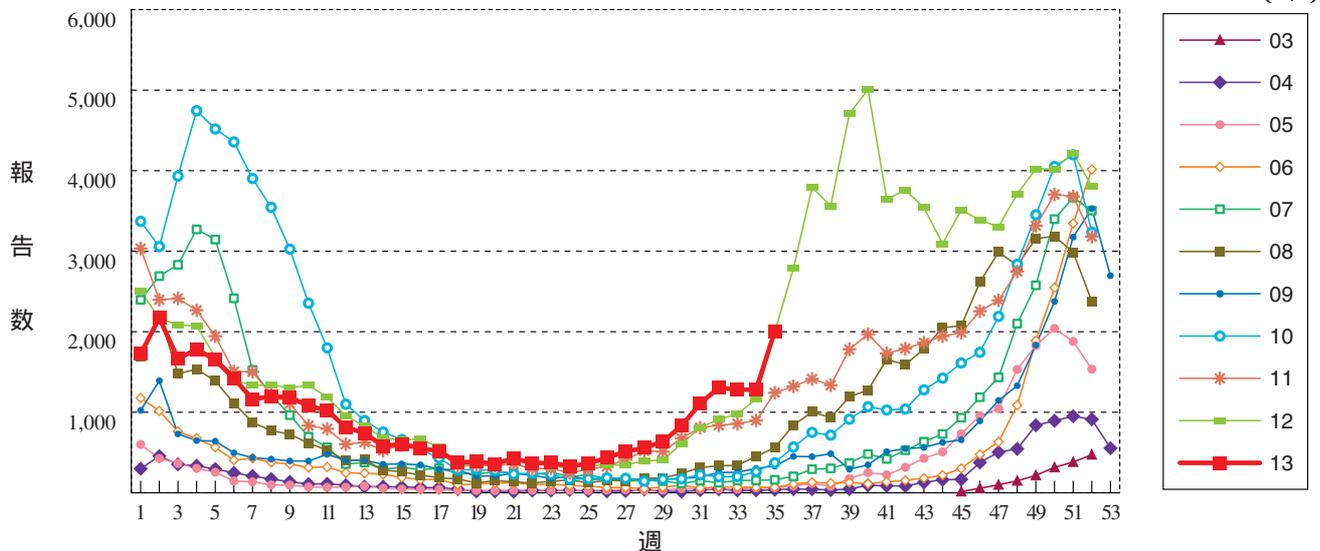
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





35週のデータ

注)表中の報告数は9月4日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	381	17729
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	498
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	207
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	137
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	232
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	124
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	152
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	224
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	327
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	210
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	170
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	833
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	850
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	2641
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	1199
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	244
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	135
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	133
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	105
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	63
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	226
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	314
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	426
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1257
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	213
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	190
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	420
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	1195
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	905
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	236
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	201
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	66
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	97
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	240
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	371
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	184
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	117
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	138
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	141
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	88
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	735
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	142
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	239
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	213
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	203
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	180
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	198
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	310

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	7	101	173	2505	1	40	1	35	1	86	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	106	-	-	-	-	-	17	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	41	-	-	-	-	1	3	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	77	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	95	-	-	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	25	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	38	-	-	-	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	28	-	-	-	-	-	3	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	64	-	1	-	-	-	4	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	134	-	3	-	1	-	4	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6	87	-	5	1	2	-	1	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	2	22	12	248	-	13	-	16	-	21	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	119	-	5	-	6	-	5	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	41	-	-	-	-	-	2	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	22	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	41	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	7	-	1	-	-	-	3	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	47	-	-	-	1	-	5	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	41	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	63	-	1	-	-	-	4	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	13	16	126	-	1	-	2	-	1	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	56	-	1	-	1	-	3	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	31	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	43	-	2	-	1	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	8	11	89	-	-	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	7	111	-	3	-	1	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	50	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	4	43	1	1	-	1	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	35	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	9	173	-	2	-	-	-	1	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	53	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	50	-	1	-	-	-	3	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	18	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	58	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	55	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回歸熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	97	-	12	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	2	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*2013年3月4日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群*		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	3	-	-	1	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
東京都	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1及びH7N9 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	142	11	151	-	-	-	-	-	-	8	80	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	2	15	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	1	3	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	25	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	22	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	15	1	3	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	6	13
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	4	6
神奈川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年35週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	20	695	2	11	-	-	13	697	2	188	5	259
北海道	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	21	-	5	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	-	-	2	52	-	-	-	-	2	19	-	4	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	12	1	2	-	-	-	6	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	9	-	1	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	10	-	1	-	24
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	7	-	-	-	14
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	1	7	-	-	1	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	1	24	-	3	1	25
千葉県	-	-	-	-	-	-	3	40	-	-	-	-	-	46	-	3	-	24
東京都	-	-	-	-	-	1	1	47	-	2	-	-	1	134	-	52	-	32
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	36	-	2	-	-	-	65	-	12	-	10
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	1	-	-	-	13	-	1	-	9
富山県	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	-	6	-	4	1	3
石川県	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	1	6	-	1	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	-	-	12	1	6	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	1	1	9	-	-	-	-	-	9	-	-	2	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	16	-	3	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	1	35	-	-	-	-	-	45	-	9	-	21
三重県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	4	-	3	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	14	-	7	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	39	-	-	-	-	4	73	-	18	-	20
兵庫県	-	-	-	-	-	-	2	26	-	-	-	-	1	32	-	7	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	9	-	7	-	4
広島県	-	-	-	-	-	-	1	20	-	-	-	-	-	11	-	10	-	6
山口県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	1	23	-	-	-	-	1	31	-	6	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	7	-	3	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	8	1	2	-	-	-	2	-	4	-	3

*2013年4月1日より届出対象疾患となりました。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		侵襲性インフルエンザ菌感染症*		侵襲性髄膜炎菌感染症*		侵襲性肺炎球菌感染症*		先天性風しん症候群	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	11	4	141	1	141	19	1000	3	50	3	68	-	15	4	550	-	13
北海道	-	9	-	2	-	3	-	20	-	1	-	2	-	-	-	23	-	-
青森県	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	1	6	-	3	-	11	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-
秋田県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-
福島県	-	-	-	3	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	5	-	-
茨城県	-	-	-	3	-	5	-	16	-	-	-	4	-	-	-	16	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	4	-	2	-	12	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-
埼玉県	-	-	-	7	-	5	1	27	-	1	-	1	-	1	-	27	-	-
千葉県	-	-	-	4	-	8	-	49	-	3	-	4	-	1	-	25	-	1
東京都	-	2	-	11	-	24	7	305	1	15	1	7	-	7	-	61	-	8
神奈川県	-	-	-	7	-	14	1	74	-	3	1	6	-	1	-	56	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	8	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-
富山県	-	-	-	1	-	6	-	3	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-
石川県	-	-	-	4	-	2	-	6	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	1	-	4	-	12	-	1	-	-	-	-	-	12	-	-
岐阜県	-	-	-	6	-	2	1	13	-	1	-	1	-	-	-	16	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	6	-	28	-	1	-	2	-	-	1	12	-	-
愛知県	-	-	-	9	-	6	-	57	-	1	-	5	-	-	-	47	-	2
三重県	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	1	-	1	1	3	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	3	1	9	-	-	-	3	-	-	-	6	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	14	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
大阪府	-	-	-	10	-	6	6	134	1	4	-	1	-	1	2	26	-	1
兵庫県	-	-	-	9	-	10	-	37	-	5	-	4	-	-	-	25	-	-
奈良県	-	-	-	7	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-
和歌山県	-	-	-	4	-	-	-	8	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
島根県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
岡山県	-	-	-	3	-	2	-	8	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-
広島県	-	-	-	5	-	1	-	23	1	1	-	-	-	1	-	3	-	-
山口県	-	-	-	2	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
香川県	-	-	1	2	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-
愛媛県	-	-	1	4	-	3	-	3	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	1	6	-	3	1	38	-	2	-	6	-	1	-	34	-	-
佐賀県	-	-	-	1	-	1	-	6	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
熊本県	-	-	-	1	1	3	-	6	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	3	-	2	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	2	-	13	-	1	-	5	-	1	-	10	-	-

*2013年5月6日より届出対象疾患となりました。

**髄膜炎菌性髄膜炎は2013年3月31日をもって届出対象疾患から外れ、以後は侵襲性髄膜炎菌感染症に含まれることになります。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年35週

	梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん		鳥インフル エンザ(H7N9)*		髄膜炎菌性 髄膜炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	24	803	1	91	-	-	1	40	55	13937	3	191	-	-	-	2
北海道	-	20	-	6	-	-	-	1	1	105	-	2	-	-	-	-
青森県	-	1	-	1	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	35	-	3	-	-	-	1	-	99	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山形県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
福島県	1	10	-	3	-	-	-	-	-	33	-	1	-	-	-	-
茨城県	-	12	-	5	-	-	-	1	-	118	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	5	-	2	-	-	-	-	-	47	-	1	-	-	-	-
群馬県	-	8	-	5	-	-	-	-	-	54	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	20	-	3	-	-	-	6	4	594	-	27	-	-	-	-
千葉県	1	36	-	5	-	-	-	1	2	695	-	20	-	-	-	-
東京都	12	282	-	3	-	-	-	7	13	3317	-	57	-	-	-	-
神奈川県	2	47	-	5	-	-	1	4	3	1631	1	29	-	-	-	1
新潟県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	43	-	1	-	-	-	-
富山県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-	-
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	26	-	-	-	-	-	-
福井県	1	2	-	1	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-
長野県	-	8	-	3	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	2	23	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	15	-	2	-	-	-	2	-	148	-	4	-	-	-	-
愛知県	2	35	-	1	-	-	-	6	4	327	2	12	-	-	-	-
三重県	-	5	1	1	-	-	-	-	3	96	-	4	-	-	-	-
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	120	-	1	-	-	-	-
京都府	1	8	-	2	-	-	-	-	1	318	-	5	-	-	-	-
大阪府	2	104	-	3	-	-	-	6	8	3139	-	15	-	-	-	1
兵庫県	-	27	-	3	-	-	-	-	6	1149	-	8	-	-	-	-
奈良県	-	3	-	1	-	-	-	-	1	180	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	243	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	3	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	2	-	-	-	1	-	71	-	2	-	-	-	-
広島県	1	6	-	1	-	-	-	-	-	91	-	-	-	-	-	-
山口県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	32	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
香川県	-	15	-	-	-	-	-	-	1	34	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-
高知県	-	3	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
福岡県	1	33	-	4	-	-	-	2	2	294	-	2	-	-	-	-
佐賀県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	40	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	2	-	-	-	-	1	21	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	4	-	1	-	-	-	1	-	62	-	-	-	-	-	-
大分県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	6	-	4	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	6	-	3	-	-	-	-	2	386	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数 定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	83	0.02	2004	1546	0.49	2126	0.68	8840	2.83	1110	0.35	13297	4.25	142	0.05	2102	0.67	
北海道	-	-	71	44	0.31	175	1.22	230	1.61	30	0.21	1177	8.23	-	-	70	0.49	
青森県	-	-	10	-	-	9	0.22	32	0.78	14	0.34	251	6.12	2	0.05	16	0.39	
岩手県	-	-	2	8	0.21	26	0.67	84	2.15	15	0.38	282	7.23	6	0.15	18	0.46	
宮城県	-	-	36	10	0.17	34	0.59	126	2.17	20	0.34	321	5.53	13	0.22	56	0.97	
秋田県	-	-	5	10	0.29	16	0.47	65	1.91	5	0.15	242	7.12	-	-	16	0.47	
山形県	-	-	40	7	0.23	32	1.07	69	2.30	14	0.47	217	7.23	-	-	27	0.90	
福島県	-	-	33	4	0.09	24	0.53	47	1.04	13	0.29	254	5.64	2	0.04	34	0.76	
茨城県	-	-	20	23	0.31	65	0.87	356	4.75	18	0.24	202	2.69	1	0.01	28	0.37	
栃木県	-	-	21	7	0.15	22	0.46	53	1.10	23	0.48	201	4.19	2	0.04	34	0.71	
群馬県	-	-	3	4	0.07	42	0.72	173	2.98	21	0.36	269	4.64	-	-	43	0.74	
埼玉県	1	0.00	72	102	0.66	114	0.74	462	2.98	30	0.19	737	4.75	8	0.05	116	0.75	
千葉県	-	-	47	47	0.36	111	0.85	239	1.82	44	0.34	521	3.98	8	0.06	77	0.59	
東京都	1	0.00	146	112	0.44	179	0.70	617	2.41	78	0.30	943	3.68	17	0.07	193	0.75	
神奈川県	-	-	58	62	0.32	72	0.37	487	2.48	35	0.18	712	3.63	25	0.13	153	0.78	
新潟県	-	-	86	18	0.30	47	0.77	87	1.43	34	0.56	745	12.21	12	0.20	25	0.41	
富山県	-	-	11	2	0.07	22	0.76	102	3.52	17	0.59	110	3.79	14	0.48	15	0.52	
石川県	-	-	19	8	0.28	30	1.03	66	2.28	2	0.07	176	6.07	-	-	9	0.31	
福井県	-	-	33	15	0.68	18	0.82	102	4.64	14	0.64	134	6.09	-	-	14	0.64	
山梨県	-	-	-	1	0.04	10	0.42	46	1.92	5	0.21	139	5.79	1	0.04	17	0.71	
長野県	2	0.02	3	22	0.41	74	1.37	174	3.22	18	0.33	585	10.83	2	0.04	28	0.52	
岐阜県	8	0.09	27	16	0.30	16	0.30	112	2.11	33	0.62	208	3.92	-	-	29	0.55	
静岡県	-	-	17	37	0.42	47	0.53	258	2.90	29	0.33	555	6.24	3	0.03	66	0.74	
愛知県	1	0.01	51	53	0.29	67	0.37	503	2.78	69	0.38	685	3.78	3	0.02	104	0.57	
三重県	-	-	7	13	0.29	11	0.24	127	2.82	7	0.16	239	5.31	-	-	32	0.71	
滋賀県	-	-	-	10	0.31	14	0.44	59	1.84	13	0.41	183	5.72	-	-	24	0.75	
京都府	15	0.12	29	16	0.22	31	0.42	145	1.96	34	0.46	361	4.88	1	0.01	37	0.50	
大阪府	3	0.01	144	73	0.37	151	0.76	584	2.93	72	0.36	519	2.61	4	0.02	124	0.62	
兵庫県	-	-	38	47	0.36	58	0.45	410	3.18	54	0.42	384	2.98	7	0.05	82	0.64	
奈良県	1	0.02	10	7	0.21	8	0.24	75	2.21	8	0.24	96	2.82	-	-	18	0.53	
和歌山県	-	-	12	3	0.10	9	0.30	40	1.33	8	0.27	98	3.27	-	-	27	0.90	
鳥取県	-	-	4	15	0.79	45	2.37	64	3.37	2	0.11	44	2.32	-	-	9	0.47	
島根県	-	-	70	14	0.61	7	0.30	124	5.39	10	0.43	108	4.70	1	0.04	17	0.74	
岡山県	-	-	10	10	0.19	26	0.48	240	4.44	24	0.44	136	2.52	3	0.06	28	0.52	
広島県	1	0.01	55	88	1.22	65	0.90	261	3.63	21	0.29	147	2.04	2	0.03	40	0.56	
山口県	-	-	78	21	0.45	69	1.47	159	3.38	20	0.43	71	1.51	1	0.02	48	1.02	
徳島県	-	-	9	1	0.04	12	0.52	90	3.91	27	1.17	71	3.09	-	-	28	1.22	
香川県	4	0.08	3	9	0.30	12	0.40	82	2.73	10	0.33	70	2.33	-	-	22	0.73	
愛媛県	3	0.05	29	7	0.19	23	0.62	157	4.24	18	0.49	210	5.68	-	-	39	1.05	
高知県	-	-	11	7	0.23	2	0.07	37	1.23	16	0.53	173	5.77	-	-	10	0.33	
福岡県	7	0.04	268	136	1.13	141	1.18	558	4.65	78	0.65	137	1.14	2	0.02	112	0.93	
佐賀県	-	-	60	58	2.52	10	0.43	37	1.61	3	0.13	10	0.43	1	0.04	18	0.78	
長崎県	-	-	45	72	1.64	28	0.64	89	2.02	16	0.36	68	1.55	-	-	35	0.80	
熊本県	-	-	67	72	1.44	32	0.64	280	5.60	21	0.42	57	1.14	-	-	51	1.02	
大分県	-	-	5	96	2.67	28	0.78	260	7.22	7	0.19	67	1.86	-	-	25	0.69	
宮崎県	-	-	119	64	1.78	43	1.19	186	5.17	15	0.42	163	4.53	1	0.03	41	1.14	
鹿児島県	-	-	98	43	0.78	41	0.75	226	4.11	19	0.35	194	3.53	-	-	34	0.62	
沖縄県	36	0.62	22	52	1.53	8	0.24	60	1.76	26	0.76	25	0.74	-	-	13	0.38	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	36	0.01	4429	1.42	720	0.23	11	0.02	485	0.71	6	0.01	35	0.07	150	0.32	12	0.03
北海道	2	0.01	400	2.80	21	0.15	-	-	12	0.41	-	-	-	-	8	0.35	-	-
青森県	-	-	168	4.10	19	0.46	-	-	9	0.82	-	-	-	-	5	0.83	-	-
岩手県	-	-	130	3.33	30	0.77	-	-	9	0.64	-	-	-	-	14	0.74	-	-
宮城県	-	-	151	2.60	9	0.16	-	-	1	0.08	-	-	-	-	8	0.67	-	-
秋田県	-	-	94	2.76	18	0.53	-	-	2	0.29	-	-	-	-	1	0.13	-	-
山形県	-	-	113	3.77	14	0.47	-	-	3	0.38	-	-	-	-	7	0.70	2	0.20
福島県	-	-	92	2.04	29	0.64	-	-	6	0.50	-	-	-	-	3	0.43	1	0.14
茨城県	1	0.01	47	0.63	10	0.13	-	-	21	1.24	1	0.08	-	-	5	0.38	-	-
栃木県	-	-	51	1.06	15	0.31	1	0.08	5	0.42	-	-	2	0.29	2	0.29	1	0.14
群馬県	-	-	102	1.76	11	0.19	-	-	14	1.00	-	-	-	-	4	0.50	-	-
埼玉県	2	0.01	176	1.14	33	0.21	-	-	26	0.63	-	-	3	0.30	7	0.70	-	-
千葉県	4	0.03	115	0.88	39	0.30	-	-	23	0.68	-	-	-	-	3	0.33	2	0.22
東京都	5	0.02	309	1.21	48	0.19	-	-	22	0.58	1	0.04	4	0.16	6	0.24	1	0.04
神奈川県	3	0.02	223	1.14	47	0.24	4	0.10	40	0.95	1	0.10	-	-	2	0.20	-	-
新潟県	2	0.03	285	4.67	5	0.08	1	0.10	5	0.50	-	-	-	-	3	0.23	2	0.15
富山県	-	-	65	2.24	7	0.24	-	-	1	0.17	-	-	-	-	3	0.60	-	-
石川県	-	-	40	1.38	3	0.10	-	-	1	0.14	-	-	-	-	5	1.00	-	-
福井県	1	0.05	22	1.00	30	1.36	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
山梨県	1	0.04	15	0.63	8	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.20	-	-
長野県	-	-	188	3.48	7	0.13	-	-	6	0.55	-	-	-	-	8	0.73	-	-
岐阜県	1	0.02	49	0.92	21	0.40	-	-	5	0.45	1	0.20	1	0.20	2	0.40	-	-
静岡県	-	-	106	1.19	5	0.06	-	-	12	0.55	-	-	-	-	7	0.70	1	0.10
愛知県	2	0.01	171	0.94	44	0.24	-	-	10	0.29	-	-	1	0.08	6	0.46	-	-
三重県	-	-	130	2.89	8	0.18	-	-	1	0.08	-	-	3	0.33	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	33	1.03	2	0.06	-	-	2	0.25	-	-	2	0.29	3	0.43	-	-
京都府	-	-	65	0.88	5	0.07	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	4	0.02	193	0.97	19	0.10	-	-	38	0.73	-	-	-	-	2	0.12	-	-
兵庫県	2	0.02	218	1.69	21	0.16	-	-	43	1.23	1	0.08	2	0.17	2	0.17	-	-
奈良県	-	-	38	1.12	4	0.12	-	-	3	0.33	1	0.17	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	43	1.43	2	0.07	-	-	1	0.25	-	-	-	-	4	0.36	-	-
鳥取県	-	-	31	1.63	1	0.05	-	-	1	0.33	-	-	2	0.40	1	0.20	-	-
島根県	-	-	31	1.35	3	0.13	-	-	-	-	-	-	3	0.38	1	0.13	1	0.13
岡山県	-	-	39	0.72	5	0.09	1	0.08	11	0.92	-	-	-	-	2	0.40	-	-
広島県	2	0.03	34	0.47	11	0.15	2	0.11	12	0.63	-	-	5	0.24	1	0.05	-	-
山口県	-	-	31	0.66	8	0.17	-	-	2	0.22	-	-	1	0.11	-	-	-	-
徳島県	-	-	33	1.43	2	0.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	40	1.33	3	0.10	-	-	5	1.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	36	0.97	8	0.22	-	-	11	1.38	-	-	2	0.33	-	-	-	-
高知県	-	-	56	1.87	14	0.47	-	-	1	0.33	-	-	1	0.13	3	0.38	-	-
福岡県	1	0.01	63	0.53	76	0.63	1	0.04	16	0.62	-	-	1	0.08	-	-	-	-
佐賀県	-	-	6	0.26	3	0.13	-	-	2	0.50	-	-	-	-	7	1.17	-	-
長崎県	-	-	8	0.18	13	0.30	-	-	6	0.75	-	-	-	-	1	0.08	-	-
熊本県	-	-	30	0.60	2	0.04	1	0.11	9	1.00	-	-	1	0.07	4	0.27	1	0.07
大分県	-	-	52	1.44	9	0.25	-	-	5	1.00	-	-	-	-	4	0.36	-	-
宮崎県	-	-	45	1.25	2	0.06	-	-	19	3.17	-	-	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	43	0.78	19	0.35	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	3	0.09	19	0.56	7	0.21	-	-	50	5.00	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-

報告数・疾病・都道府県別
 2013年35週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	1
北海道	-
青森県	-
岩手県	-
宮城県	-
秋田県	-
山形県	-
福島県	-
茨城県	-
栃木県	-
群馬県	-
埼玉県	-
千葉県	1
東京都	-
神奈川県	-
新潟県	-
富山県	-
石川県	-
福井県	-
山梨県	-
長野県	-
岐阜県	-
静岡県	-
愛知県	-
三重県	-
滋賀県	-
京都府	-
大阪府	-
兵庫県	-
奈良県	-
和歌山県	-
鳥取県	-
島根県	-
岡山県	-
広島県	-
山口県	-
徳島県	-
香川県	-
愛媛県	-
高知県	-
福岡県	-
佐賀県	-
長崎県	-
熊本県	-
大分県	-
宮崎県	-
鹿児島県	-
沖縄県	-

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注) 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年35週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1又はH7N9)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年35週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第35号 2013年9月13日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。